もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。本書は次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

⚠ 警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害 （＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「　」 他のマニュアルへの参照の場合 …『　』 おたすけナビ、できるdynabookへの参照の場合 …《　》 おたすけナビには、さまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では次のように定義します。

Windows XP ………………Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

おたすけナビ ………………パソコン上で見ることのできる、電子マニュアルを示します。デスクトップ上の［おたすけナビ］アイコンをダブルクリックして起動します。

ドライブ ……………………DVDスーパーマルチドライブを示します。

参照 ドライブについて 『取扱説明書 3章 パソコンの基本操作を覚えよう』

Coreモデル …………………インテル® Core™ Duoプロセッサーまたはインテル® Core™ Soloプロセッサーが内蔵されているモデルを示します。

記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」と注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや同梱のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Media、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、インテル、インテルCoreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- BeatJam、CyberSupportは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- BeatJam、CyberSupport、おたすけナビは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、BeatJam、CyberSupport、おたすけナビにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- InterVideo、WinDVD、WinDVD CreatorはInterVideo,Inc.の登録商標または商標です。
- TruSurround XT、WOW HD、WOW XT、Circle Surround Xtract、SRSおよび、SRSと(●)®記号は、SRS Labs, Inc.の商標です。
  TruSurround XT、WOW HD、WOW XT、Circle Surround Xtract、TruBass、SRS 3D、DefinitionおよびFOCUS技術は、SRS Labs, Inc.のライセンスに基づき製品化されています。
- 「おたすけナビ」は株式会社東芝の商標です。
- メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは商標です。
- xD-ピクチャーカード™は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- 「クイックプレイ」は、ドルビーデジタルオーディオ符号化システムを使用しています。
  ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
  非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

バックアップについて

ハードディスクや外部記憶メディアに保存しているデータは、万一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。
ハードディスクや外部記憶メディアに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。
バックアップについて、詳しくは『取扱説明書 7章 アプリケーションについて』を参照してください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

ワイド画面における画面の引き伸ばしについて

1. 本製品は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご注意の上、画面モードをお選びください。
2. 本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切り換え機能等を利用して、画面の引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本書に記載している各お問い合わせ先は、2006年3月現在の情報です。各社の事情で受付時間などが変更になることがあります。

1 DVDの映画や映像を観る

用語について
本節では、「DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、「DVD-Video」を示します。

DVDの映画や映像を観るには、次の方法があります。本製品では、DVD-Videoの再生ができます。

■Windows上でDVDが見られる「InterVideo WinDVD」■

Windows上でDVDを再生するには、「InterVideo WinDVD ™ 5 for TOSHIBA」を使います。

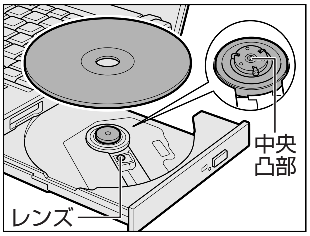
■電源OFFからすぐにDVDが見られる「クイックプレイ」■

Windowsを起動せずに、DVDを見ることができます。
Windowsの起動時間を待つ必要がありません。

① WinDVDで観る

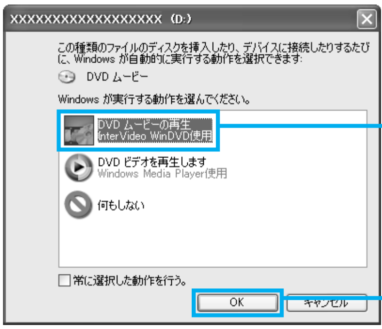
ここでは、「InterVideo WinDVD」でDVD-Videoの映像を観る方法を説明します。
「InterVideo WinDVD」を使う前に、「付録 1-1 Windows上でのDVD-Videoの再生にあたって」をよくお読みください。

1 Windowsが起動している状態で、ドライブにDVDをセットする



2 起動するアプリケーションを選択する

「InterVideo WinDVD」が起動しなかった場合は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［InterVideo WinDVD］→［InterVideo WinDVD］をクリックしてください。



① [DVDムービーの再生 InterVideo WinDVD使用］をクリック

② [OK］をクリック

再生するDVD-Videoによっては、表示が一部異なる場合があります。また、操作ボタンの一部は、機能対応している場合のみ表示できます。

3 「InterVideo WinDVD」が起動する

メインウィンドウ



メインウィンドウとWinDVDコントロールパネルが表示されるので、操作ボタンを使ってDVDの映像（DVD-Video）を観ましょう。

WinDVDコントロールパネル



操作ボタン

再生
ディスクの再生をスタートします。再生中は設定された間隔でオートリピートします。

ボリューム
上にドラッグすると音量が上がります。
下にドラッグすると音量が下がります。

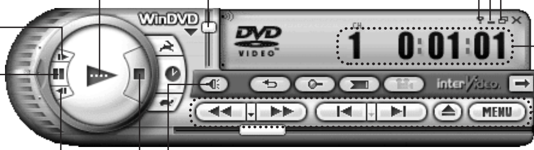
ヘルプ
ヘルプを表示します。

最小化
画面を最小化します。

フルスクリーン
画面を最大化します。

コマ送り

一時停止



カウンタ
再生中のDVDのチャプターや再生時間などを表示します。

コマ戻し

停止

ミュート
クリックすると消音になります。
消音の状態でクリックすると、元の音量に戻ります。

前のチャプター

取り出し
ディスクが出てきます。



ディスクメニュー
メニューを表示します。

早戻し　**早送り**　**次のチャプター**

■WinDVDについて■

- 本製品で再生できるのは、DVD-Videoです。Video CDとは異なります。DVDが入っていたパッケージやDVDの盤面に「DVD-Video」と記載されていることを確認してください。

役立つ操作集

パソコンをDVDプレーヤ代わりに使う

パソコンの「InterVideo WinDVD」で再生している映像を、外部ディスプレイにも表示することができます。
パソコン本体に外部ディスプレイを接続し、映像を表示するための設定を行う必要があります。詳しくは、『取扱説明書 5章 周辺機器を使って機能を広げよう』を確認してください。

「InterVideo WinDVD」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　　　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口 受付時間 ：9:00〜19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

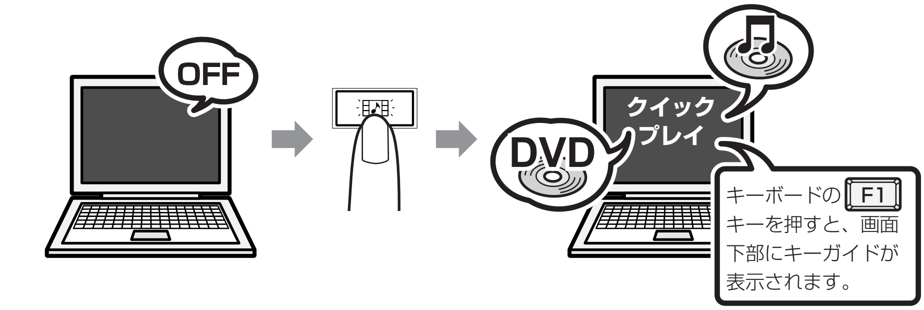
② クイックプレイ（DVD）で観る

1 クイックプレイとは

本製品には、CD／DVD再生のために「クイックプレイ」が用意されています。ここでは、クイックプレイについて説明します。
クイックプレイには、次の2つの機能があります。

- 音楽CDを再生する　「クイックプレイ（CD）」
- DVDを再生する　　「クイックプレイ（DVD）」

これらを、「パソコンに電源を入れる」→「CD／DVD再生のアプリケーションを起動する」といった操作をすることなく、パソコン本体のボタンを押すだけで、簡単に行えます。
操作は、パソコン本体のボタンとキーボードで行います。



① パソコンが次のとき
・電源オフ
・休止状態

② ［CD/DVD］
ボタンを押す

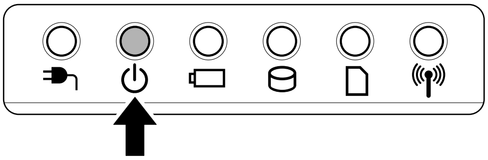
③ パソコンの電源が入り、
「クイックプレイ」が起動

お願い

- クイックプ レイの動作中は、自動的に電源を入れる機能を使ってシステムを起動することはできません。タイマー予約なども実行できませんので、ご注意ください。
- Coreモデルでは、BIOSセットアップの「Dynamic CPU Frequency Mode」を「Always Low」に設定すると、「クイックプレイ」の映像がコマ落ちする場合があります。安定してご覧いただくために「Dynamically Switchable」または「Always High」に設定してください。

クイックプレイに関する表示

「クイックプレイ」使用中は、Power ⏻ LEDが青色に点灯します。



クイックプレイについて

- 「クイックプレイ」には、SRS社のSRS WOW XT（エスアールエス・ワウ・エックスティ）技術を使用して、サウンドの音質を調整できる機能があります。
- ご購入時の状態では、クイックプレイ領域として、ハードディスク容量のうち約200MBを使用しています。
- 「クイックプレイ」を使用中に、パソコン本体のボタンやキーボードからの操作が効かなくなったときには、パソコン本体の電源スイッチを5秒以上押して強制終了し、起動し直してください。
- 「クイックプレイ」は、タッチパッドやマウスからの操作には対応しておりません。
- Windowsは、「クイックプレイ」を終了してからのみ、起動できます。Windows起動中は、「クイックプレイ」は使用できません。

「クイックプレイ」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号	：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口 受付時間	：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

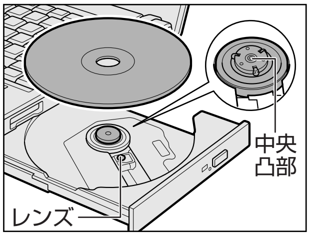
2 DVDを観る

ここでは、「クイックプレイ（DVD）」でDVD-Videoを再生する方法について説明します。
DVDを観る前に、「付録 1-2 「クイックプレイ（CD）」「クイックプレイ（DVD）」の使用にあたって」をよくお読みください。

1 パソコンが電源オフまたは休止状態のとき、［CD/DVD］ボタンを押す

パソコンの電源が入り、「クイックプレイ」が起動します。
メディアの挿入をうながすメッセージが表示されます。
メディアがセットされているときは、自動的に再生が始まります。

2 ドライブにDVDをセットする



再生が始まります。
再生が開始するまで、少し時間がかかる場合があります。

■再生できないDVDをセットした場合■

「クイックプレイ」で再生できるDVDは、DVD-Videoのみです。
「クイックプレイ」で再生できないDVDをセットした場合、「再生できません。」というメッセージが表示されます。
次のいずれかの方法を行ってください。

- 「クイックプレイ」で使用できるDVDに入れ替える
  キーボードの[E]キーを押して、ディスクを取り出してください。
  その後、DVD-Videoをセットしてください。
- Windowsを起動する
  パソコン本体の電源スイッチを押して「クイックプレイ」を終了してください。
  パソコンが電源オフまたは休止状態になってから、もう1度、電源スイッチを押すと、Windowsが起動します。Windows上で、DVDを使用してください。

メモ

- 「クイックプレイ」で再生できるCDは音楽CDのみです。再生できないCDをセットした場合も、同様のメッセージが表示されますので、同様の方法を行ってください。

再生の停止

再生を停止するには、［停止］ボタンを押します。
次のメッセージが表示された場合、続き再生ができます。
続き再生が可能な状態にしておけば、再生を停止した画面から、その続きを再生できます。



参照 続き再生について「本項- DVD再生に関するさまざまな操作- 続き再生」

DVDの取り出し

DVDを取り出すには、「クイックプレイ」起動中に、キーボードの[E]キーを押します。

終了

お願い

- 「クイックプレイ」は、必ず、正しい手順で終了してください。
  Windows起動中には、ディスプレイを閉じることによって休止状態またはスタンバイにする機能がありますが、「クイックプレイ」起動中には対応していません。

「クイックプレイ」を終了するには、次のように操作してください。

1 パソコン本体の電源スイッチを押す



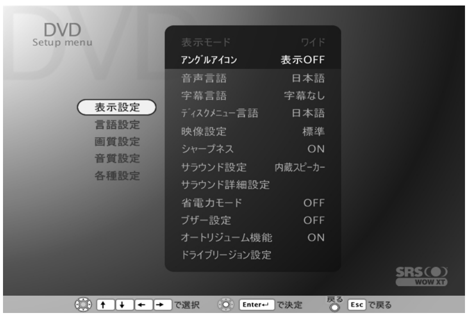
「クイックプレイ」が終了します。
「クイックプレイ」を起動する前の状態が、電源オフだった場合は電源オフに、休止状態だった場合は休止状態になります。

DVD設定

DVD設定メニューでは、DVDを再生するうえでのさまざまな設定をすることができます。
DVD設定メニューを起動するには、次のように操作してください。

1 キーボードのF2キーを押す

［DVD設定メニュー］画面が表示されます。



（表示例）

DVD設定メニューを終了してDVD再生に戻るには、キーボードのF2キーを押してください。
設定できる項目は、次のようになっています。

表示設定

「クイックプレイ（DVD）」でDVDを再生する場合の画面表示について、次の設定ができます。

■表示モード■
本製品では対応しておりません。

■アングルアイコン■
マルチアングルを示すアイコンを、画面に表示するかどうかを設定します。アイコンを表示するように設定しておくと、マルチアングルが用意されているシーンを再生しているときに、アングルの切り替えができる場合は、画面右上にアイコンが表示されます。

表示ON　：アイコンを表示する
表示OFF ：アイコンを表示しない

アングルアイコン



言語設定

「クイックプレイ（DVD）」でDVDを再生する場合の言語について、設定できます。
本機能はクイックプレイ（DVD）の初期設定です。再生するDVDにあらかじめ音声、字幕、ディスクメニュー言語が設定されている場合は、その設定が優先されます。
言語コードの入力画面では、「付録 4 言語コード一覧」を参照して、設定したい言語の言語コードを入力してください。
タイトルに設定した言語が含まれていない場合には、タイトルが指定する言語が使用されます。

＊ DVD再生中は、DVD設定メニュー画面からの設定はできません。再生を停止してから設定してください。

■音声言語■
複数の言語の音声が用意されているDVDを再生する際の、音声言語を設定します。どのような言語が用意されているかは、再生するDVDによって異なります。

日本語　：日本語の音声を再生する
その他　：設定したい言語の言語コードを入力する
日本語以外の言語を設定したい場合に選択してください。

■字幕言語■
複数の言語の字幕が用意されているDVDを再生する際の、字幕言語を設定します。どのような言語が用意されているかは、再生するDVDによって異なります。

日本語　：日本語の字幕を表示する
その他　：設定したい言語の言語コードを入力する
日本語以外の言語を字幕表示させたい場合に選択してください。
字幕なし：字幕を表示しない

■ディスクメニュー言語■
複数の言語のディスクメニューが用意されているDVDを再生する際の、メニュー言語を設定します。どのような言語が用意されているかは、再生するDVDによって異なります。

日本語　：日本語のメニューを表示する
その他　：設定したい言語の言語コードを入力する
日本語以外の言語を設定したい場合に選択してください。

画質設定

DVD再生時の画質について設定します。

■映像設定■
映像の明るさ、色合い、コントラスト、濃さを設定します。
「標準」、「お好み」のいずれかの映像タイプを選択できます。
「お好み」を選択すると、明るさ、色合い、コントラスト、濃さを好みにあわせて調整できます。

■シャープネス■
映像の輪郭を強調し、くっきりした映像にします。
「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。

音質設定

SRS社のSRS WOW XT（エスアールエス・ワウ・エックスティ）やSRS TruSurround XT（エスアールエス・トゥルーサラウンド・エックスティー）技術を使い、音楽や音声を聴く環境にあわせて、サウンドの音質を調整します。SRS WOW XTやSRS TruSrround XT技術の音響強化機能を利用して、お好みの音質でサウンドをお楽しみいただけます。

■サラウンド設定■
音楽や音声を聴く環境ごとに適した音質に設定したモードが用意されています。お好みにあわせて選択してください。
［DVD設定メニュー］画面で、［音質設定］→［サラウンド設定］を選択してください。
メニューが表示され、「内蔵スピーカー」、「外部接続スピーカー」、「開放型ヘッドフォン」、「密閉型ヘッドフォン」、「OFF」のいずれかを設定できます。

■サラウンド詳細設定■
［サラウンド設定］で選択したモードの音質を、更に詳しく調節します。
［DVD設定メニュー］画面で、［音質設定］→［サラウンド詳細設定］を選択してください。
メニューが表示され、次の設定を調節できます。

- SRSレベル　：音のステレオ感（広がり）を調節する
- Focusレベル　：音のクリア感を調節する
- スピーカーサイズ　：音の低音感を調節する
  スピーカーサイズとは、スピーカやヘッドフォンがどのぐらいの低音を再生できるかを表した数値です。
- TruBassレベル　：音の低音感を調節する
  スピーカーサイズに応じた低音レベルを調節します。
- 初期設定に戻す　：［サラウンド詳細設定］の設定を標準値に戻す

各種設定

■省電力モード■
バッテリ駆動時のDVD再生時間を長くするために、省電力機能を使用するかどうかを設定します。
「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。

■ブザー設定■
クイックプレイを操作したときに、ビープ音を鳴らすかどうかを設定します。
「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。

メモ

- ［省電力モード］の設定は、「クイックプレイ（DVD）」のみに有効です。
- ［省電力モード］を「ON」に設定した場合、バッテリ駆動時には、一部の高画質化処理が行われません。

メモ

- DVDによって、シーンあるいはディスク全体でリジューム再生を禁止しているなどにより、リジューム再生できないことがあります。リジュームできるのは、過去に再生した20枚以内です。

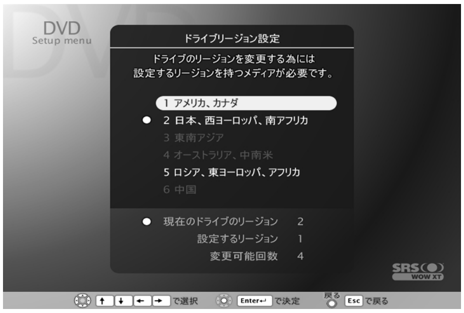
■オートリジューム機能■

過去に再生したDVDの前回再生していた場面から再生を開始します。「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。
「ON」に設定すると、次のときにオートリジューム機能を実行します。

- 過去に再生していたDVDを挿入したとき
- DVDが挿入された状態でクイックプレイ(DVD)を起動したとき
- 再生中にクイックプレイ（CD）に切り替えて、もう1度クイックプレイ（DVD）に戻したとき

■ドライブリージョン設定■

ドライブのRegion（リージョン）を設定・変更するときに使用します。



（表示例）

ドライブのRegionについては、次の説明をお読みください。

- Regionとは、DVD-Videoを再生する地域を制限するコードのことです。
- ディスクのRegionとドライブのRegionが一致していないと再生することができません。
- Regionは１から6があり、通常日本向けに販売されているディスクはRegion 2を持っています。
- 出荷時には、ドライブはRegion 2に設定されています。
- ドライブのRegionは4回まで変更できます。4回変更すると、それ以降は最後に変更した値に固定されます。
- Regionを変更するためには、変更したいRegionを含むディスクを挿入する必要があります。また、最後の変更時には、そのRegionのみを含むディスクを挿入してください。

DVD再生に関するさまざまな操作

DVDのおもな再生操作については、「付録 2 クイックプレイの操作一覧」をご覧ください。
ここでは、その他のDVD再生に関する操作を説明します。

- 表記について
  本節でクイックプレイの操作を説明する上で、次の記号を使用します。

  キーボード ：パソコン本体のキーボードからの操作を示します。

■DVDメニュー選択■

DVDのメニューを表示し、再生したいタイトルやチャプタを選択するには、次のように操作してください。

参照 DVDメニューの表示方法「付録 2 クイックプレイの操作一覧」

キーボード

方向キーで選択し、Enterキーで再生を開始する
DVDには構造によってさまざまなメニューが用意されています。この操作をしたときに表示されるメニューは、DVDによって異なります。

■続き再生■

前回再生を停止した場面から、その続きを再生できます。画面に「[再生] を押すと、続き再生」と表示されている状態で、次のように操作してください。

キーボード

Spaceキーを押す

次のような場合は、続き再生できません。

- 前回再生停止した後、設定メニューから設定を変更した
- 再生しているDVDが、続き再生機能に対応していない

など

■再生するタイトルの選択■

再生するタイトルを選択するには、次のように操作してください。

キーボード

Tキーを押した後、再生したいタイトル番号の数字キーを押す

停止中にTキーを押した場合は、タイトル番号を入力した後、Enterキーを押します。

再生するDVDによっては、本機能は動作しない場合があります。

■再生アングルの選択■

DVDによっては、複数のカメラアングル（角度）からの映像が用意されています。このアングルを切り替えて再生するには、DVD再生中に次のように操作してください。

キーボード

Gキーを押す

現在のアングル番号が表示されます。アングル番号が表示されているときにこの操作をすると、1回押すごとに、DVDに用意されているアングルが切り替わります。

アングル番号は、操作してから数秒たつと消えます。

メモ

- DVDによっては、アングルを切り替えてもすぐに映像が切り替わらない場合があります。
- 早送りまたは早戻し中は、アングルを切り替えることができません。

■字幕の選択■

DVDによっては字幕が用意されていて、再生画面に表示できます。複数の言語で字幕が用意されているDVDの場合は、表示したい字幕を選択できます。

DVD再生中に次のように操作してください。

キーボード

Sキーを押す

画面に現在の字幕情報が表示されます。1回押すごとに、DVDに用意されている字幕が切り替わります。字幕なしにすることもできます。

メモ

- DVDによっては、自動的に字幕が表示されます。
- 再生している場面によっては、字幕表示の操作をしてもすぐには字幕が表示されないことがあります。
- DVDによっては、字幕の言語や表示／非表示の切り替えを、ディスクメニューで選択できます。

■音声を切り替える■

DVDによっては、複数の音声（吹き替え）が用意されています。音声を切り替えるには、DVD再生中に次のように操作してください。

キーボード

Aキーを押す

画面に現在の音声情報が表示されます。1回押すごとに、DVDに用意されている音声が切り替わります。

メモ

- DVDによっては、音声の言語の切り替えを、ディスクメニューで選択できます。

2 映像を編集してDVDに残す

映像を編集してDVDに残すには、Windows上で動作する「WinDVD Creator」(ウィンディーブイディー クリエイター)を使います。デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVDに残すことができます。
映像を編集する前に、「付録 1-3 「WinDVD Creator」の使用にあたって」をよくお読みください。

書き込み可能なメディア

プロジェクトモードとは
映像データを編集してからDVDに保存するモードです。映像を編集したい場合におすすめします。

ディスクマネージャとは
デジタルビデオカメラの映像をそのまま直接DVDに書き込むときに使用するモードです。編集しないでDVDに保存する場合におすすめします。

「WinDVD Creator」には、「プロジェクトモード」と「ディスクマネージャ」の2つのモードがあります。各モードで使用できるフォーマット（映像を書き込むときの記録形式）が異なります。

プロジェクトモード	DVD-Videoフォーマット
ディスクマネージャ	DVD-Videoフォーマット、-VRフォーマット、+VRフォーマット

モードとフォーマットによって、書き込みできるメディアの種類が異なります。

○：使用できる　×：使用できない

プロジェクトモード（DVD-Videoフォーマット）

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	○*1	○	○*1	○	○*2

＊1 DVD+R DLおよびDVD-R DLに書き込んだ場合、書き込みを行ったパソコンにインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。
＊2 DVD-Videoフォーマットで記録されたDVD-RAMは、本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。

ディスクマネージャ（DVD-Videoフォーマット）

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	×	○*1	×	×	×

＊1 再生するためには、ファイナライズを行ってください。ディスクマネージャで作成したメディアのみ追記、再編集が可能です。

ディスクマネージャ（-VRフォーマット）

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	×	×	×	×	○

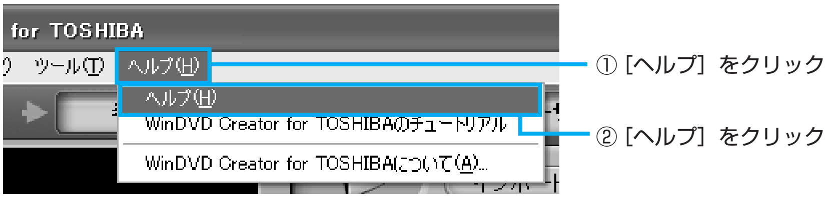
ディスクマネージャ（+VRフォーマット）

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	×	×	×	○*1	×

＊1 ディスクマネージャで作成したメディアのみ追記、再編集が可能です

ヘルプの起動方法

「WinDVD Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



① 映像ファイルをDVDにする

ここでは、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVDに書き込む方法を説明します。

1 DVDにする映像ファイル（ビデオ映像のファイルなど）を用意する

あらかじめ映像ファイルを用意しておきます。

デジタルビデオカメラで撮影した映像を編集したい場合は、「本節 ③ デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」を参照してください。

2 起動する



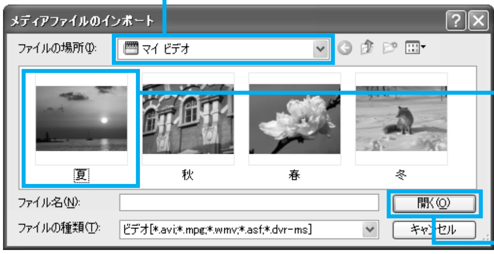
3 ［作成済みのビデオファイルをCD／DVDに作成］のボタンをクリックする



4 使用するファイルを選択する

＊再生時間が24時間以上ある映像ファイルを取り込むことはできません。

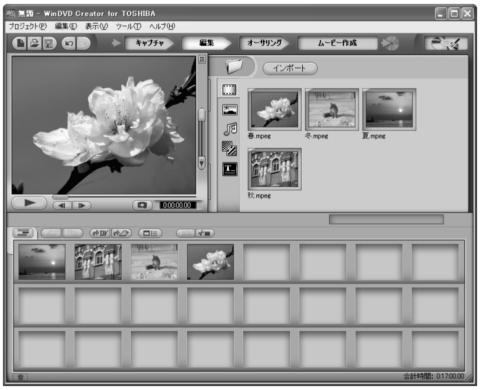
① ファイルの保存場所を指定



② ファイルを選択
複数選択したいときは、Ctrlキーを押したまま、ファイルをクリックします。

③［開く］をクリック

5 映像ファイルが取り込まれる



映像ファイルが取り込まれ、編集画面が表示されました。
以降、取り込まれた映像のことを「クリップ」と呼びます。

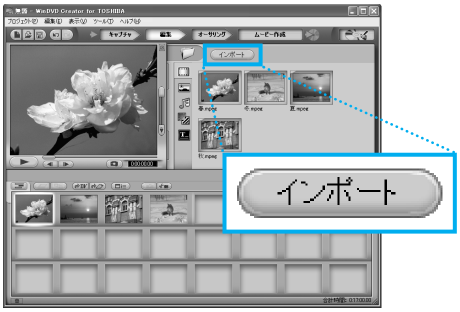
メモ

- ここでは「WinDVD Creator」で映像を取り込む方法を説明しています。同様の作業は、「Windows® Movie Maker 2（Windows ムービーメーカー）」でも実行できます。操作方法は「Windows ムービーメーカー」のヘルプをご覧ください。

役立つ操作集

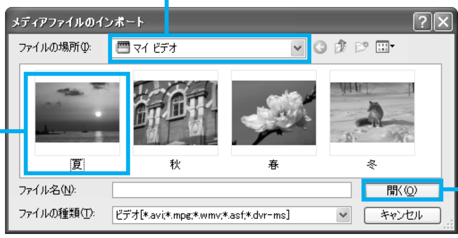
編集中に映像ファイルを取り込む

映像ファイルの取り込みは、編集を行っている最中にも行えます。



① [インポート] をクリック

② ファイルの保存場所を指定



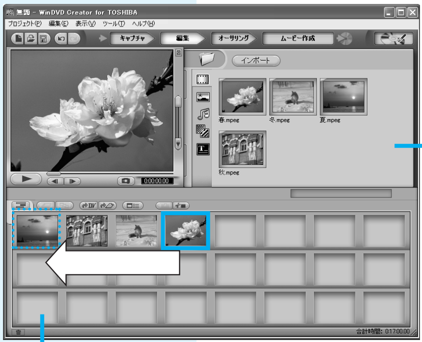
③ ファイルを選択
複数選択したいときは、
Ctrl キーを押したまま、
ファイルをクリックします。

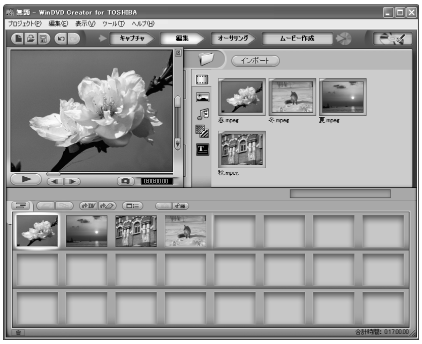
④ [開く] をクリック

次は、編集を行います。

6 クリップを並び替える

ストーリーボードに表示されたクリップをドラッグアンドドロップして、書き込みたい順番に並び替えます。





メディアライブラリー
取り込んだ映像を表示します。

ストーリーボード
ここに並べた順に、DVDに書き込まれます。

クリップが並び替えられました。

メモ

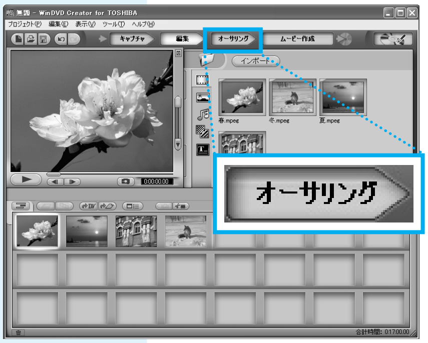
- 編集は、取り込んだ映像の録画時間より、時間がかかることがあります。

7 ［オーサリング］をクリックする

オーサリングを行います。
ここではDVDメニューを付けてみましょう。

オーサリングとは
DVDメニュー（タイトル画面）を作成する機能のことをいいます。

プレビュー画面
ここに表示されている画像がDVDメニューの画面になります。





オーサリングの画面に切り替わりました。
ここでは、あらかじめ用意されているDVDメニューを使います。

8 [オーサリングプレビュー] ボタンをクリックする

DVDメニューの動作を確認することができます。



9 プレビュー画面で動作を確認する

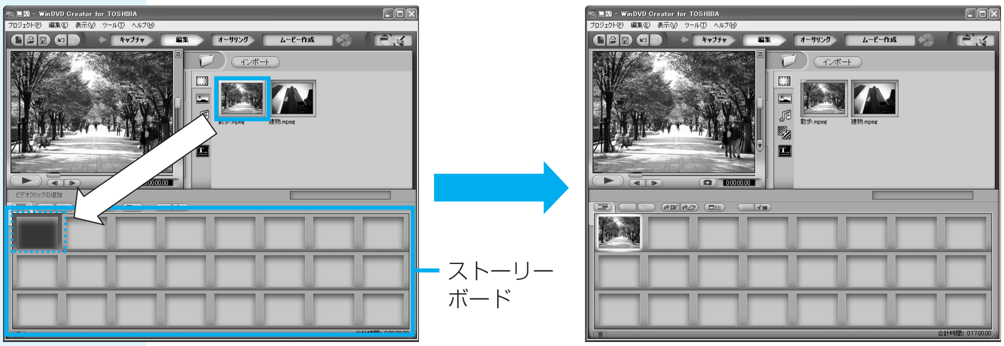


作ったDVDメニューを確認できる画面に切り替わりました。確認の操作は、画面右のリモコンを使います。この画面を閉じるときは、⏻ボタンをクリックしてください。

これで、切り出した映像を1つにまとめ、DVDメニューを作ることができました。次はDVDに書き込みます。

■デジタルビデオカメラから映像を取り込んだ場合■

「本節 ③ デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」で、デジタルビデオカメラから直接映像を取り込んだ場合は、クリップがストーリーボードに表示されていません。メディアライブラリーに表示されているクリップを、ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。



クリップをストーリーボードにドラッグアンドドロップすると、クリップがストーリーボードに並べられます。必要なクリップを順次ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。

メモ

編集やDVDメニューを作る操作では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。

- 編集の画面で、画像（静止画）や音楽の追加。また、タイトルやトランジションエフェクトをかけることも可能。
- オーサリングの画面で、DVDメニューの背景画像、文字入力やボタンの変更。

トランジションエフェクト
画像をモザイク状にしたり、少しずつ濃くなって消えるなどの、効果を追加する機能です。

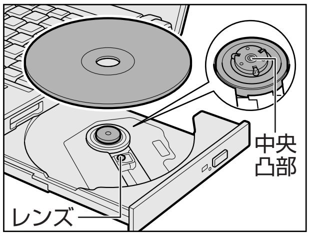
これらについての詳細は、「WinDVD Creator」のヘルプを確認してください。

＊ハードディスクに書き出すこともできます。

ここでは、DVDディスクに直接書き込む方法を説明します。ハードディスクに書き出す場合は、手順10の作業を行う必要はありません。

DVDまたはハードディスクに書き出す前に、「付録 1-4 DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」をよくお読みください。

10 ドライブにDVDをセットする



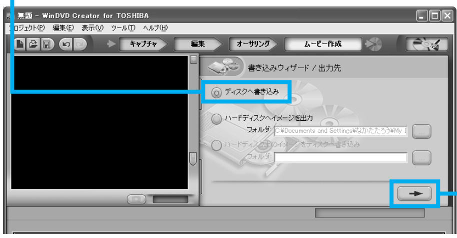
11 ［ムービー作成］をクリックする



12 出力先を設定する

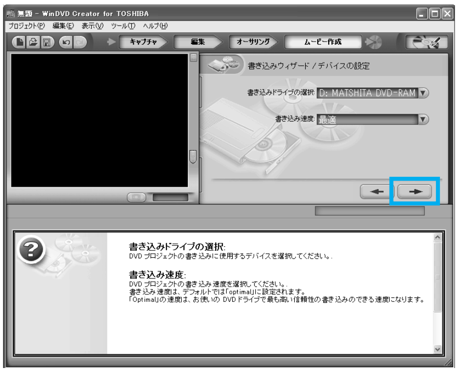
① ［ディスクへ書き込み］をチェックする

② をクリック



ハードディスクに書き出す場合は、［ハードディスクへイメージを出力］をチェックし、［フォルダ］欄で書き出す場所を指定してください。

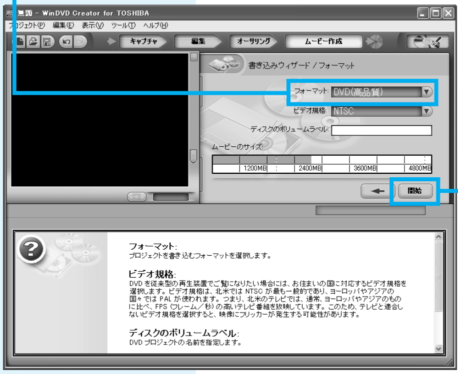
13 をクリックする



14 フォーマット（画質）を選択し、［開始］ボタンをクリックする

① フォーマットを選択
［DVD（高品質）］または［DVD（標準）］を選択してください。

② ［開始］をクリック



すでにデータが書き込まれているDVD-RAM、DVD-RW、DVD+RWをドライブにセットした場合は、次のようなメッセージが表示されます。



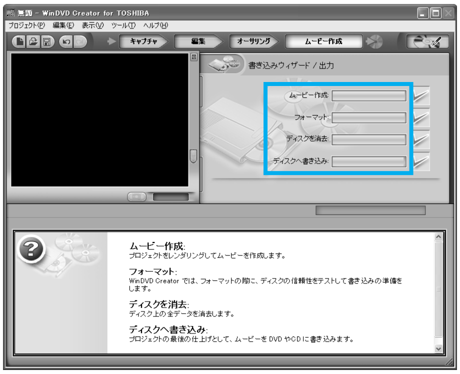
データを削除して、DVDに書き込んでもよい場合は、［OK］ボタンをクリックしてください。

＊ メーターはあくまで目安です。メーターを超えていない場合でも、DVDの容量を超えて「オーサリングエラー」が表示されることがあります。

［ムービーのサイズ］のメーターがDVDの容量を超えている場合は、「本節 ② 映像ファイルを2つに分けて別々のDVDにする」を参考にして、映像ファイルを2枚のDVDにするか、いらない部分を削除してください。

15 映像の書き込みが始まる





＊ 映像の書き込みには、時間がかかる場合があります。

16 書き込みが終了し、［OK］ボタンをクリックする



書き込みが終了するとドライブからディスクが出てきます。

② 映像ファイルを2つに分けて別々のDVDにする

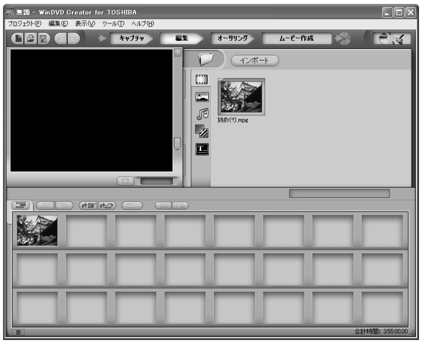
＊ DVD1枚とは4.7GB1層のDVDメディアを指しています。DVD-RAMで両面あるメディアの場合は、片面ずつ映像を書き込むことができます。

＊ 4.7GBのDVDメディアに書き込める映像データは4.0GB（DVD+R DLメディア（8.5GB）の場合、7.0GB）です。

「プロファイル」の初期設定で録画した映像ファイルはDVD1枚あたり、［DVD HQ］で1時間弱、［DVD SP］で2時間弱、収録できます。長い時間録画した映像ファイルがDVDの容量を超えていると、1枚のDVDに収まりません。2枚のDVDに収まるように映像ファイルを切り分けます。
ここでは4時間の映像ファイルを半分に分け、2枚のDVDにする操作を説明します。

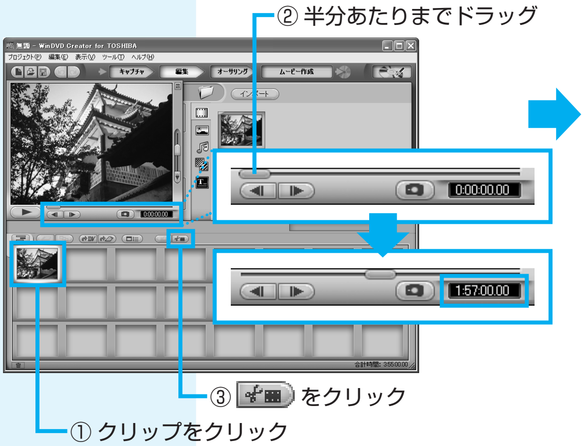
1 ビデオファイル（ビデオ映像のファイルなど）を取り込む

「本節 ① 映像ファイルをDVDにする」の手順1〜4と同じ操作です。



映像ファイルが取り込まれました。

2 半分の長さ（約2時間弱）でビデオファイルを分ける





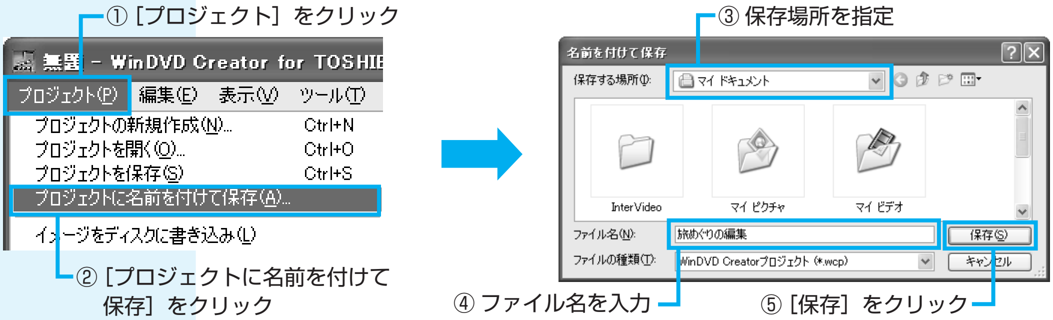
クリップが2つに分かれました。

役立つ操作集

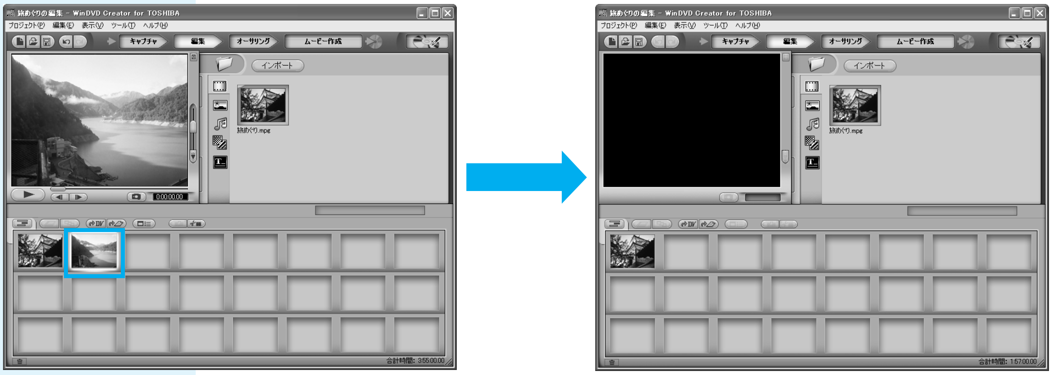
ストーリーボード上のクリップをダブルクリックすると、クリップの時間を調整するトリミングメニュー画面が表示されます。



3 ファイルに保存する



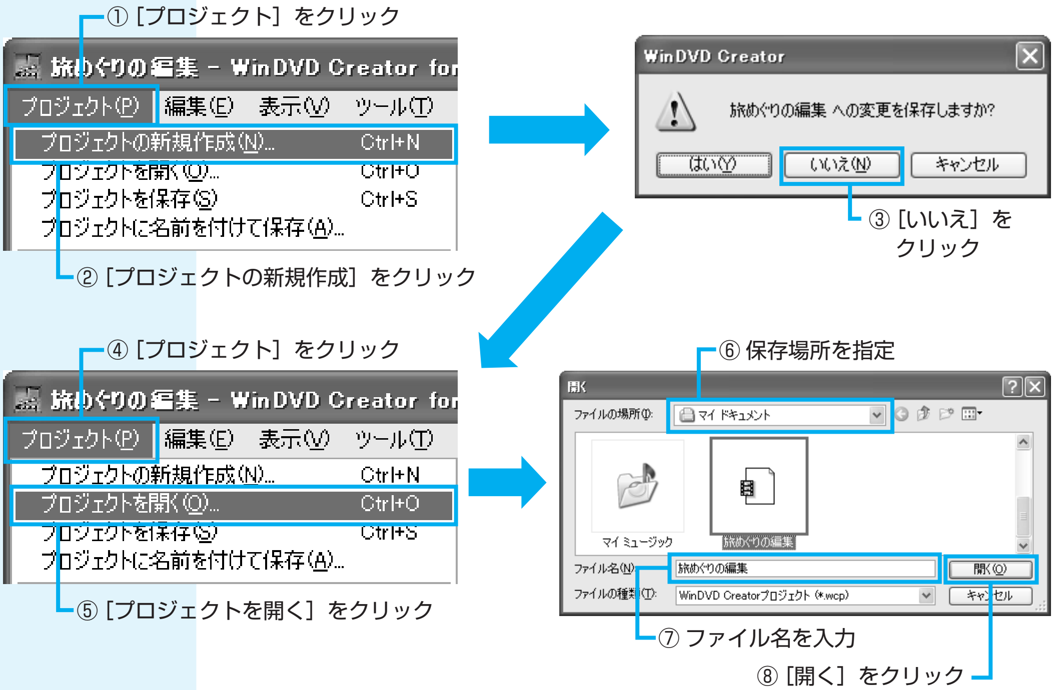
4 後半（2つ目）のクリップをクリックし、[Del] キーを押す



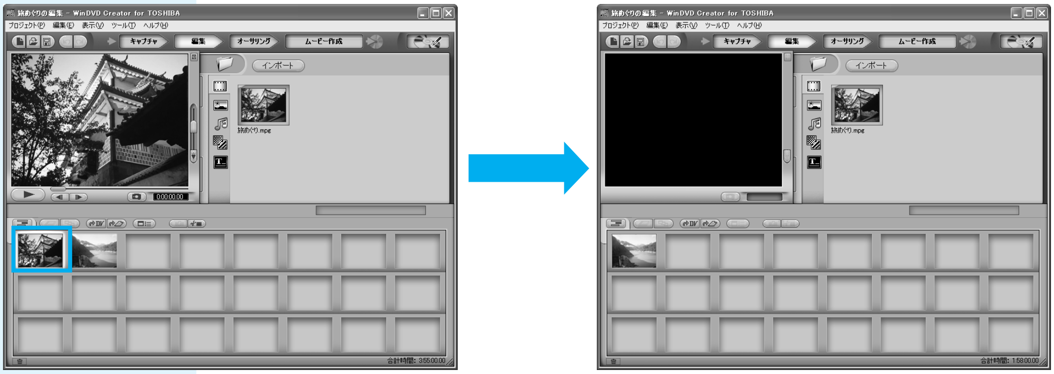
クリップの前半部分が残ります。これをDVD（1枚目）にします。「本節 ① 映像ファイルをDVDにする」手順7～手順16と同じ操作です。

映像ファイルの後半部分をDVDにします。

5 手順3で保存したファイルを開く



6 前半（1つ目）のクリップをクリックし、Del キーを押す



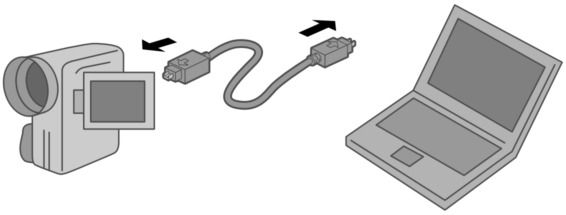
クリップの後半部分が残ります。これをDVD（2枚目）にします。「本節 ① 映像ファイルをDVDにする」手順7〜手順16と同じ操作です。

③ デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする

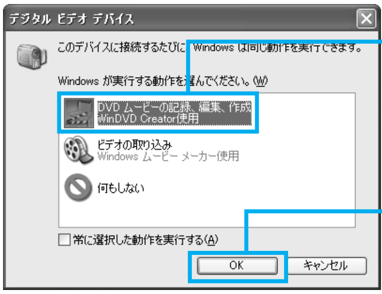
ここでは、デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込んで、DVDにする方法を説明します。

1 デジタルビデオカメラをパソコンに接続し、電源を入れる

参照 デジタルビデオカメラの接続と電源の入れかた『デジタルビデオカメラに付属の説明書』



2 やりたいことを指定する

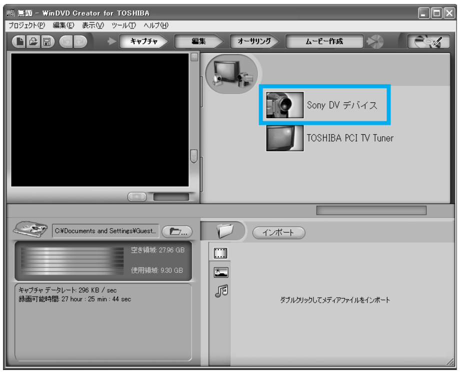


① [DVDムービーの記録、編集、作成 WinDVD Creator使用] をクリック

② [OK] をクリック

3 ビデオカメラをクリックする

インポート をクリックすると、あらかじめパソコンに保存されている映像ファイルを取り込むことができます。詳細は、「本節 ① 映像ファイルをDVDにする」手順5内の「役立つ操作集」を確認してください。

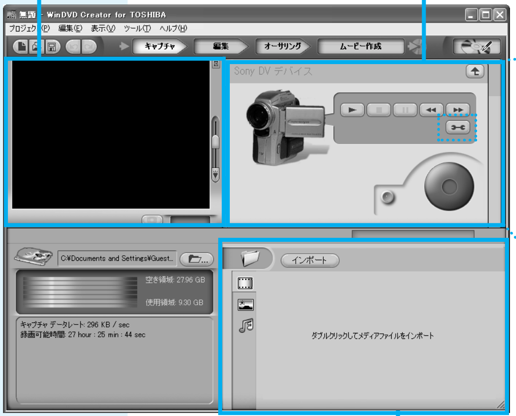


4 編集したい部分を切り出して取り込む

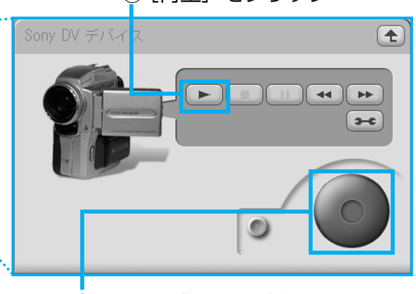
「WinDVD Creator」が起動します。

プレビューウィンドウ
再生中の映像を表示します。

コントロール画面
映像の再生や停止、録画などを操作する画面です。



① ［再生］をクリック



② DVDに残したい映像になったら［録画］をクリック

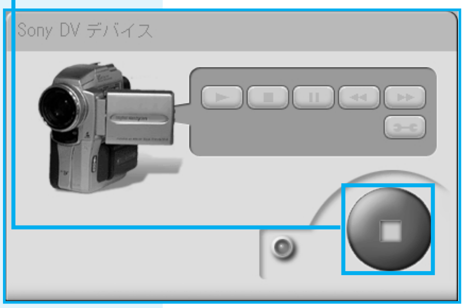
メディアライブラリー
編集に使うファイルを管理します。取り込んだ映像は、ここに表示されます。

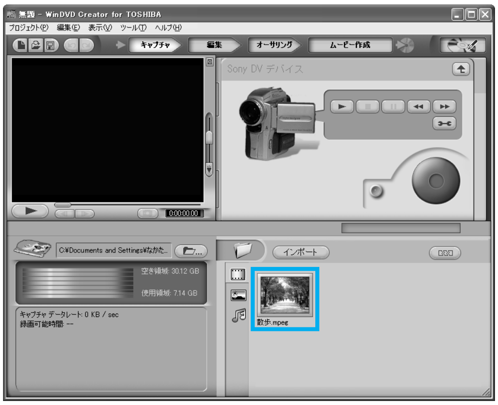
ボタンをクリックすると映像ファイルの録画品質を設定する画面が表示されます。フォーマットとプロファイルで選択してください。

フォーマット	プロファイル	ムービー作成*
MPEG	DVD HQ（品質高）	［DVD（高品質）］
	DVD GQ（品質良）	
	DVD SP（標準再生）	［DVD（標準）］
	DVD LP（長時間再生）	
	DVD EP（拡張再生）	
DV-AVI	DV-AVI	－

＊「本節 ① 映像ファイルをDVDにする」手順14で、［ムービー作成］のフォーマットを表のとおりに選択すると、DVDを書き込む時間が短くなります。

③ 取り込みが終わりまできたら、［停止］をクリック

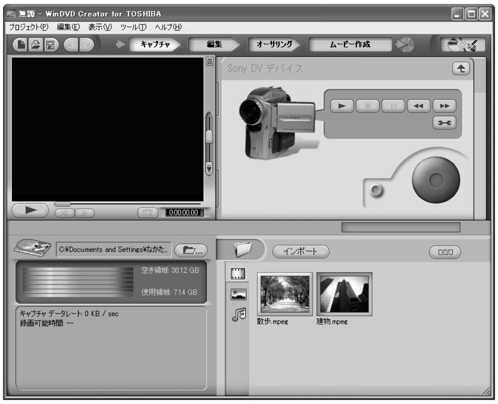




ビデオライブラリーに映像ファイルが表示され、映像が取り込まれました。

5 別のカット（映像）を切り出したい場合は、手順4をくり返す

ここでは、全部で2つのカットを取り込みます。

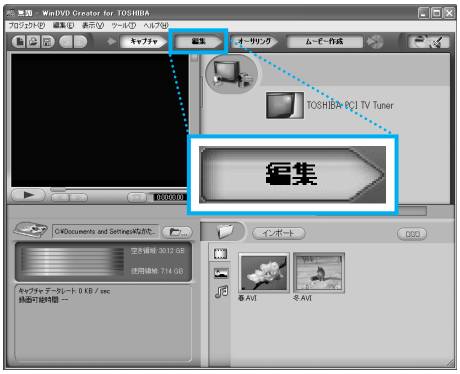


複数のテープから映像を取り込みたい場合は、テープを入れ替えて手順3をくり返してください。

6 デジタルビデオカメラの電源を切り、パソコンと接続しているケーブルを取りはずす

参照 デジタルビデオカメラの電源の切りかたと接続ケーブルの取りはずしかた『デジタルビデオカメラに付属の説明書』

7 ［編集］をクリックする



編集の画面に切り替わります。
以降の操作は、「本節 ① 映像ファイルをDVDにする」の手順6に進んでください。

メモ

- 「Windows ムービーメーカー」を使って、映像を取り込み編集することもできます。「Windows ムービーメーカー」の詳しい操作方法についてはヘルプを確認してください。「Windows ムービーメーカー」のお問い合わせは、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）になります。

「WinDVD Creator」の問い合わせ先

インタービデオジャパン　ユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。
当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。

受付時間	：月～金　9:30～17:00 （12:00～13:30および土、日、祝祭日、特定休業日は休み）
TEL	：045-226-3899
FAX	：045-226-3895
E-mail	：techsupp@intervideo.co.jp
ホームページ	：http://www.intervideo.co.jp/

3 音楽を聴く

本製品で音楽CDを聴くには、2種類の方法があります。お好みで使い分けてください。

■Windows上で音楽CDが聴ける「BeatJam（ビートジャム）」■

インターネットやメールなど、パソコンで作業をしているときでも、音楽CDを聴くことができます。音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルのリストを作ったりすることもできます。

■電源OFFからすぐに音楽CDを聴ける「クイックプレイ」■

Windowsを起動せずに、音楽CDを聴くことができます。
Wndowsの起動時間を待つ必要がありません。

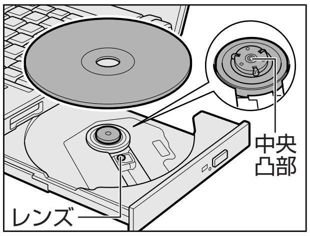
① BeatJamを使う

ここでは、「BeatJam」の基本的な使いかたを説明します。
音楽CDを聴いたり、音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルをまとめて1つのリストを作ることもできます。

1 音楽CDを聴く

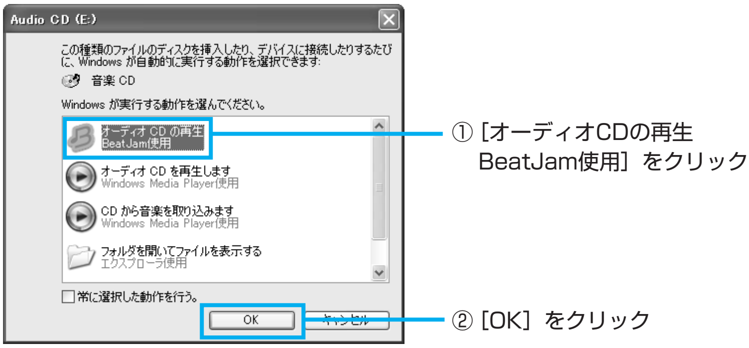
ここでは、音楽CDを聴く方法を説明します。ドライブに音楽CDをセットするだけで、「BeatJam」を起動することができます。

1 ドライブに音楽CDをセットする



2 操作の目的を選択する

［オーディオCDの再生 BeatJam使用］が表示されていない場合は、をクリックして表示してください。



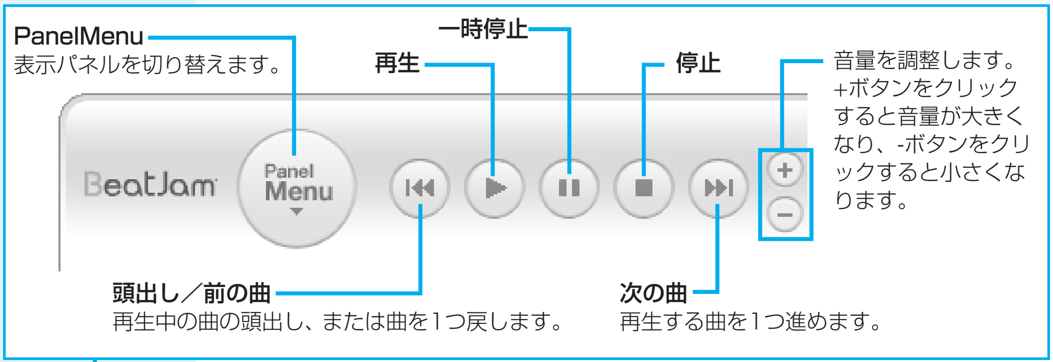
「BeatJam」が起動しなかったときは、［スタート］→［すべてのプログラム］→［BeatJam］→［BeatJam］をクリックしてください。

初めて起動したときは、［使用許諾契約の確認］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。次に「バックアップツール」についての画面が表示されます。内容を確認後、［OK］ボタンをクリックしてください。続けて、ユーザ登録をおすすめする画面が表示されます。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、［今すぐ登録］ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。後でユーザ登録を行う場合は、［閉じる］ボタンをクリックしてください。

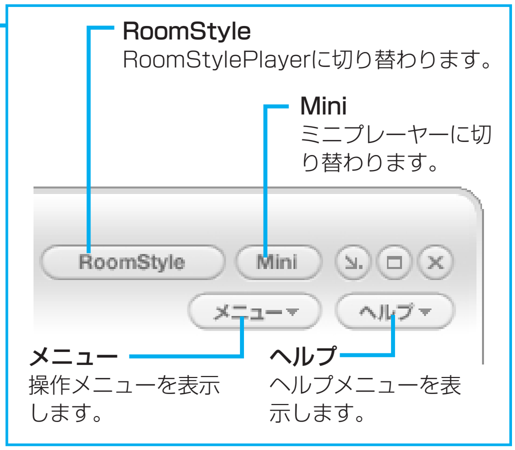
3 音楽を聴く

自動的にCDの1曲目から再生されます。
画面に用意されている各ボタンで操作してください。

CDパネルの操作画面





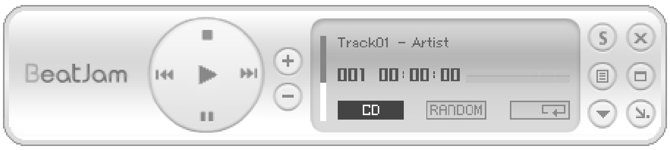


それぞれの詳細は、［ヘルプ］ボタンをクリックして、「BeatJam」のヘルプをご覧ください。

役立つ操作集

ミニプレーヤー

［Mini］ボタン（ Mini ）をクリックすると、ミニプレーヤーに切り替わります。
操作ボタンや音量調節など、音楽を聴くための機能を集約した画面です。



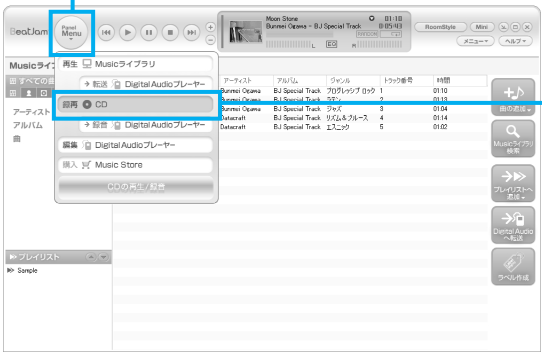
2 音楽ファイルを作る／聴く

ここでは、「BeatJam」で音楽CDの曲をパソコンに録音して、音楽ファイルを作る方法を説明します。音楽ファイルを作ったら、そのファイルを再生してみましょう。あらかじめ、ドライブに音楽CDをセットしておいてください。

1 CDパネルを表示する

すでにCDパネルが表示されている場合は、手順 2 に進んでください。

① ［Panel Menu］をクリック



② ［CD］をクリック

CDパネルが表示されます。

2 音楽CDから録音する曲と、録音形式を選択する

次の録音形式が選択できます。

OpenMG Audio形式
著作権保護機能に対応する形式のこと。OpenMG形式で録音した音楽ファイルは、再生できる機器などが限られる。手順③では［OpenMG Audio］を選択する。

WindowsMedia形式
「Windows Media Player」標準のデータ形式のこと。手順③では［WMA］を選択する。

WAVE形式
MIDIやサウンドカード、電子楽器に対応する、Windowsで一般的に使われている形式のこと。手順③では［WAV］を選択する。

メモ

- 「BeatJam」では、MP3ファイルの再生は可能ですが、MP3形式のデータを作成することができません。

① 録音する曲をチェックする
録音しない曲はチェックをはずしてください。



② 録音形式をクリック
［録音形式の選択］画面が表示されます。



③ 録音形式を選択
［OpenMG Audio］、［WMA］、［WAV］から選択できます。デジタルオーディオプレーヤで音楽ファイルを再生する場合には、プレーヤで再生できるファイル形式を確認し、選択してください。

④ ［OK］をクリック

音楽CDの曲情報をGracenote CDDB® から取り込むことができます。Gracenote CDDB® については、「BeatJam」のヘルプを確認してください。音楽認識技術及び関連情報はGracenote® 社によって提供されています。

3 ［録音の開始］ボタンをクリックする

音楽CDの曲がパソコンに録音され、音楽ファイルの作成が始まります。

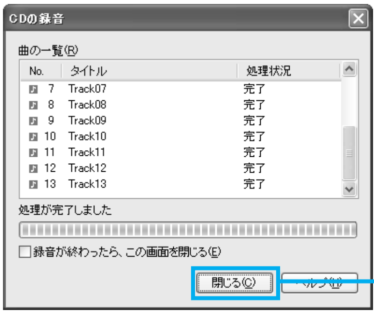


① ［録音の開始］をクリック



音楽ファイルの作成が完了したら、「処理が完了しました」と表示されます。

4 録音する画面を閉じる

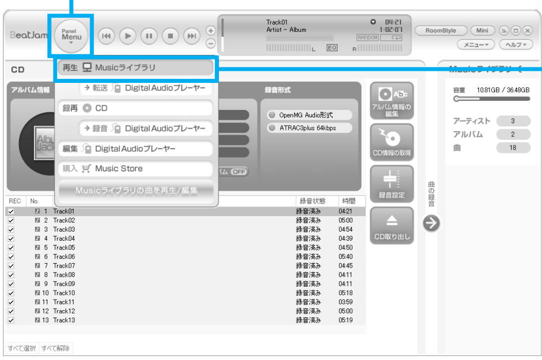


① ［閉じる］をクリック

作成した音楽ファイルは、ライブラリパネルで再生できます。
次の手順で、作成した音楽ファイルを再生してみましょう。

5 Musicライブラリパネルを表示する

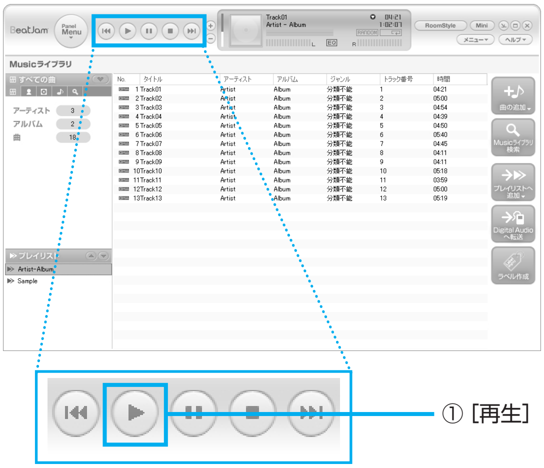
① ［Panel Menu］をクリック



② ［Musicライブラリ］をクリック

Musicライブラリパネルが表示されます。

6 音楽ファイルを再生する



音楽ファイルの再生が始まります。

3 自分だけの演奏リスト（プレイリスト）を作る

ここでは、プレイリストを作る方法を説明します。音楽ファイルを好きな順番に並べて1つにまとめたものを「プレイリスト」といい、自分だけの演奏リストを作ることができます。

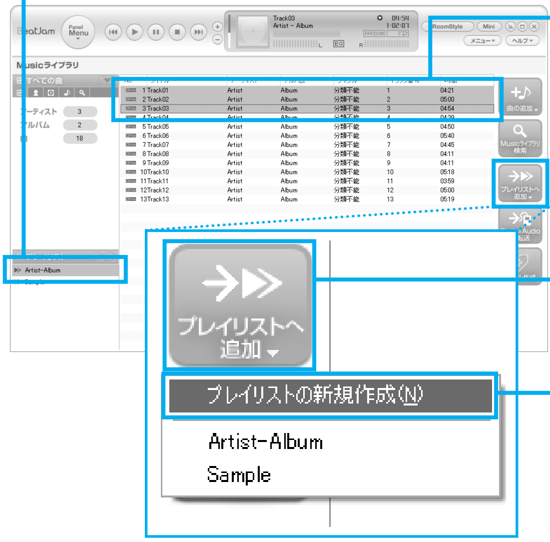
1 Musicライブラリパネルを表示する



Musicライブラリパネルが表示されます。

2 プレイリストに入れたい曲を選択する

① 新規作成するプレイリストに入れたい曲が入っているプレイリストをクリック
ここでは［Artist-Album］をクリックします。



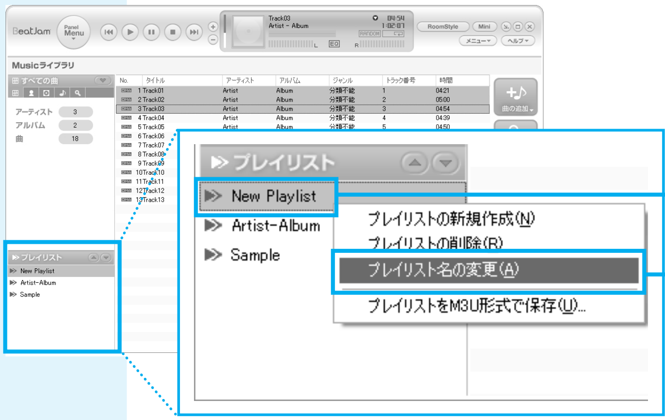
② 入れたい曲を選択する
曲を複数選択したいときは、Ctrlキーを押したまま曲をクリックします。

③［プレイリストへ追加］をクリック

④［プレイリストの新規作成］をクリック

新しいプレイリストが追加されます。
プレイリストの名前は変更できます。

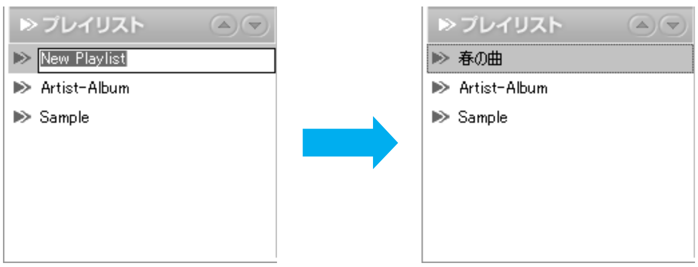
3 プレイリストに名前を付ける



① プレイリストを右クリック

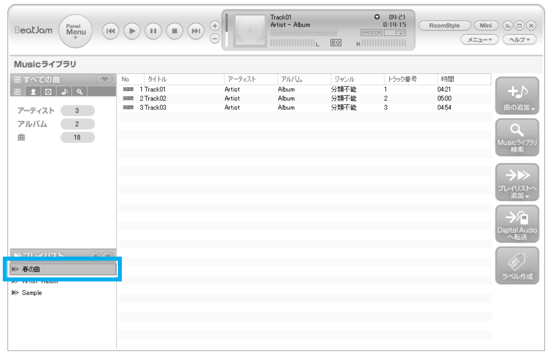
②［プレイリスト名の変更］をクリック

［New Playlist］の名前が変更できる状態になります。キーボードから、名前を入力してください。ここでは「春の曲」と入力します。



4 プレイリストが完成

新しいプレイリスト（[春の曲]）をクリックして、曲が追加されたことを確認しましょう。



「BeatJam」の問い合わせ先

●ユーザー登録に関するお問い合わせ

ユーザー登録ご相談窓口

受付時間　：平日　10:00～19:00　土・日・祝日　10:00～17:00
（特別休業日を除く）

TEL　：東京　03-5412-2624　大阪　06-6886-2624

ホームページ　：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ

ジャストシステムサポートセンター

＊サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。

受付時間　：平日　10:00～19:00　土・日・祝日　10:00～17:00
（特別休業日を除く）

TEL　：東京　03-5412-3980　大阪　06-6886-7160

ホームページ　：http://support.justsystem.co.jp/

② クイックプレイ（CD）で音楽CDを聴く

音楽CDを聴く前に、「付録 1-2「クイックプレイ（CD）」「クイックプレイ（DVD）」の使用にあたって」をよくお読みください。

クイックプレイを使って音楽CDを聴くときの起動／終了方法は、「1-② クイックプレイ（DVD）で観る」と同様です。
また、その他の操作方法は、「付録 2 クイックプレイの操作一覧」を参照してください。
ここでは、補足として、再生モードの変更方法を説明します。

再生モードの変更

音楽CDを聴くとき、次の中から再生モードを選択できます。

再生モード	切り替えキー	内　容
通常再生	－	CDの1曲目から順番に最後の曲まで再生する
1曲リピート＊1	Ctrl＋R	現在選択されている曲を、繰り返し再生する
Discリピート＊1	Ctrl＋R	CDの1曲目から順番に最後の曲まで再生した後、また1曲目から繰り返し再生する
シャッフル再生＊2	Ctrl＋S	CDに収録されている通りではなく、曲の順番を入れ替えて再生する

＊1 Ctrl＋Rキーを1回押すごとに、次のように切り替わります。通常再生（標準値）→1曲リピート→Discリピート→通常再生…

＊2 Ctrl＋Sキーを1回押すごとに、曲の順番を入れ替えて再生する／しないが切り替わります。

4 オリジナル音楽CDを作る

音楽CDを作る前に、「付録 1-5「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」をよくお読みください。

オリジナルの音楽CDを作るには、「TOSHIBA Disc Creator」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

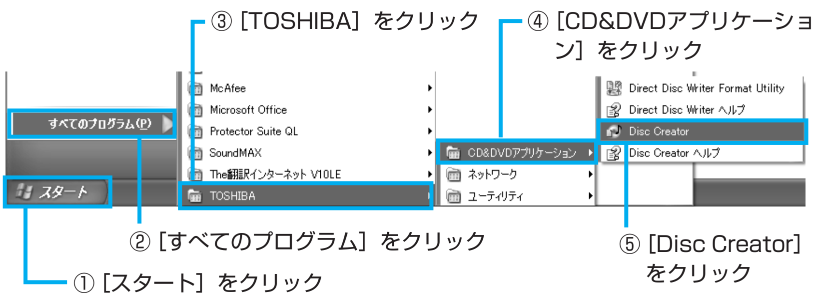
オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。
作成したCD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

① オリジナル音楽CDを作る

ここでは、既成の音楽CDから、曲をいったんパソコンに取り込み、その後CD-Rに書き込んで音楽CDを作る方法を説明します。

1 起動する

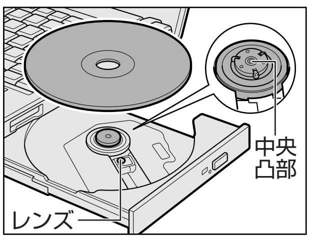
「TOSHIBA Disc Creator」を起動したとき、音楽CDの情報をインターネットから取得するための「Windows Media Player」の設定に関する画面が表示される場合があります。必要に応じて、設定を行ってください。
設定方法については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。



2 ［音楽CD作成］をクリックする

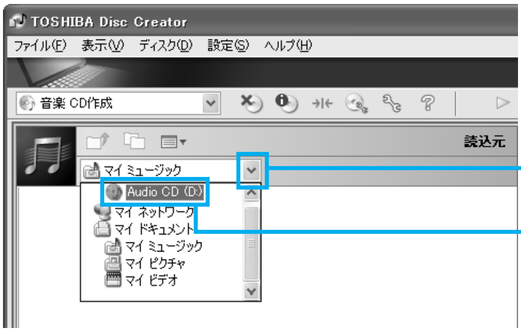


3 ドライブに音楽CDをセットする



音楽CDをセットした後に、［Audio CD］画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

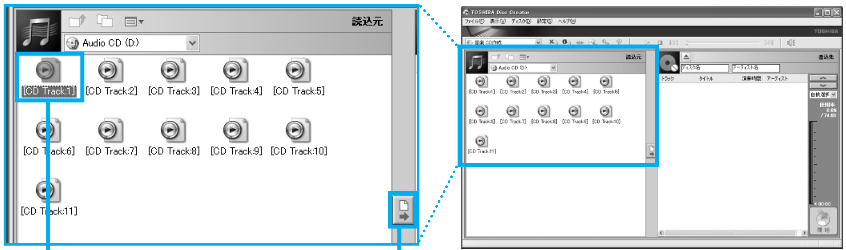
4 ドライブを選択する



① をクリック

② [ドライブ] をクリック

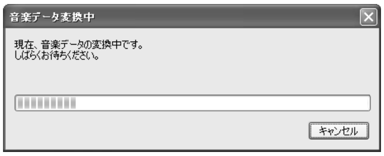
5 書き込みたい曲（トラック）を選択する



② [書き込み先にデータを追加する] をクリック

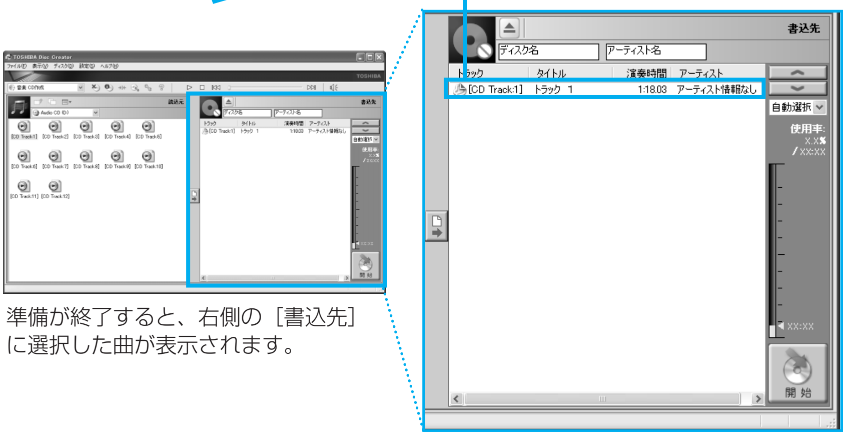
① 曲を選択する

曲は、「Track」と表示されます。曲を複数選択したい場合は、Ctrl キーを押したまま目的の曲をクリックしてください。



選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。

書き込む曲の一覧



準備が終了すると、右側の［書込先］に選択した曲が表示されます。

メモ

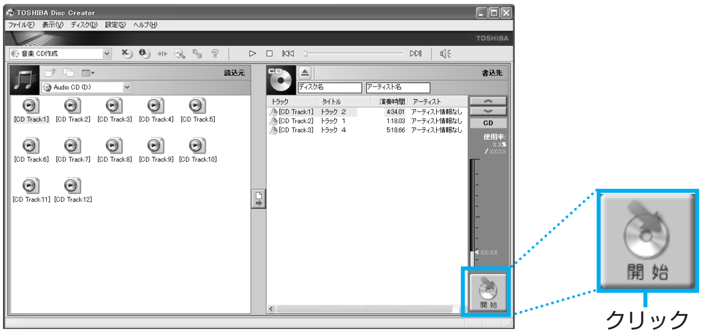
- 曲順を入れ替えたい場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

6 音楽CDを入れ替え、手順5をくり返す

他の音楽CDからも曲を取り込みたい場合に行ってください。

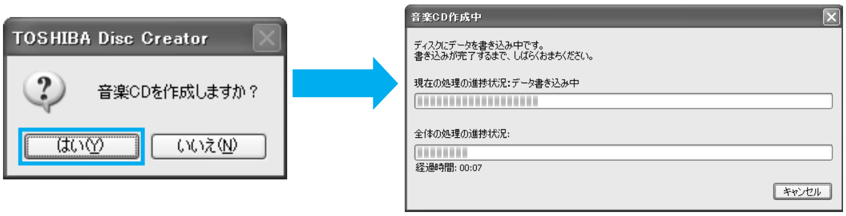
7 ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-R、CD-RWまたは消去してよいCD-RWをセットする

8 ［開始］ボタンをクリックする



9 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。



CDの書き込みが終了すると、ドライブが自動的に開きます。

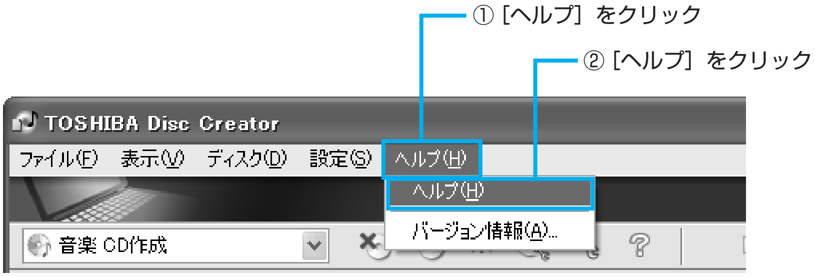
10 ［いいえ］ボタンをクリックする



さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、未使用のCD-Rと入れ替えて、［はい］ボタンをクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Disc Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



「TOSHIBA Disc Creator」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　　　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口 受付時間 ：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

5 音楽の環境を整える

本製品には、より良い状態でパソコンを楽しんでいただくために、音質を調整する機能が用意されています。目的にあわせてご使用ください。

① ドライブの動作音を小さくする

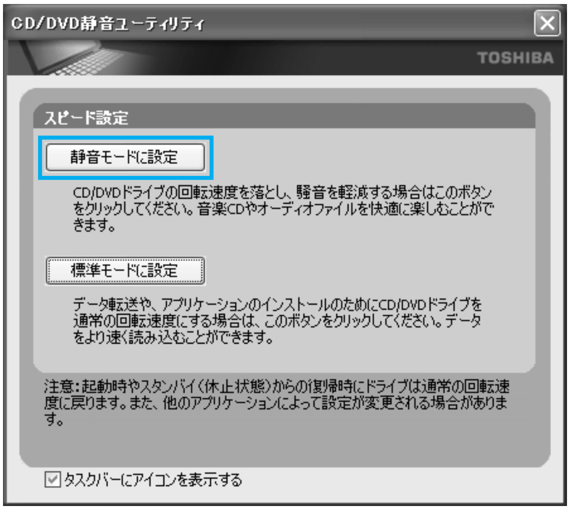
＊ 静音効果は、使用条件や個人の感覚によって異なります。

音楽CDを楽しんでいるときに、ドライブの動作音が気になるときは、「CD/DVD静音ユーティリティ」を使ってみましょう。
ドライブの回転速度をおさえ、動作音を小さくします。

1 ［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコンをダブルクリックする



2 ［静音モードに設定］ボタンをクリックする

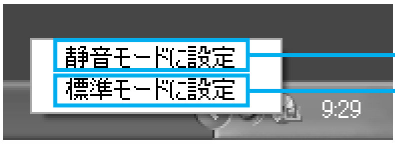


［タスクバーにアイコンを表示する］のチェックをはずすと、通知領域のアイコン（ ）が消えます。
この場合、「CD/DVD静音ユーティリティ」を起動するには、［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］→［ CD/DVD静音ユーティリティ］をクリックします。
通知領域にアイコン（ ）をもう1度表示するには、［タスクバーにアイコンを表示する］をチェックしてください。

画面が閉じて、静音モードに設定されます。
これでドライブの動作音が小さくなります。

役立つ操作集

通知領域の［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから、モードを選択することもできます。



「静音モード」に設定したいときにクリック
「標準モード」に設定したいときにクリック

音楽CDを聴き終わった後は、「標準モード」に設定し直してください。「静音モード」に設定しているとCDの読み出し速度が遅くなるため、「標準モード」よりもCDの読み出しに時間がかかります。
「静音モード」に設定しても、次のような場合は、「標準モード」に切り替わります。

- システムを再起動したとき
- スタンバイ、休止状態から復帰したとき
- 「TOSHIBA Disc Creator」、「TOSHIBA Direct Disc Writer」、「TOSHIBA Recovery Disc Creator」でCD/DVDの書き込み／編集を行うとき
- CD速度を設定するアプリケーションを使用したとき

「CD／DVD静音ユーティリティ」については、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

「CD/DVD静音ユーティリティ」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）

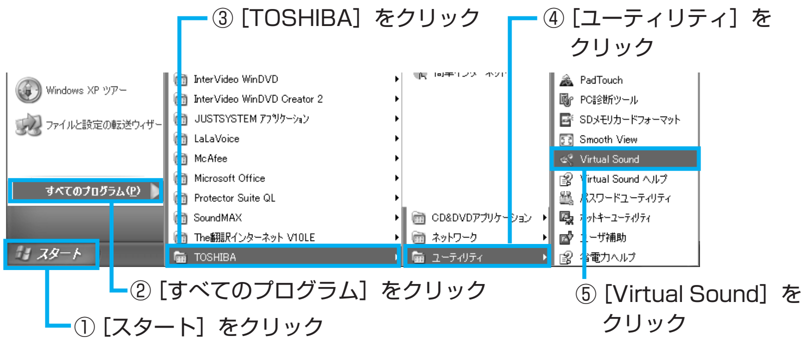
技術相談窓口受付時間　：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

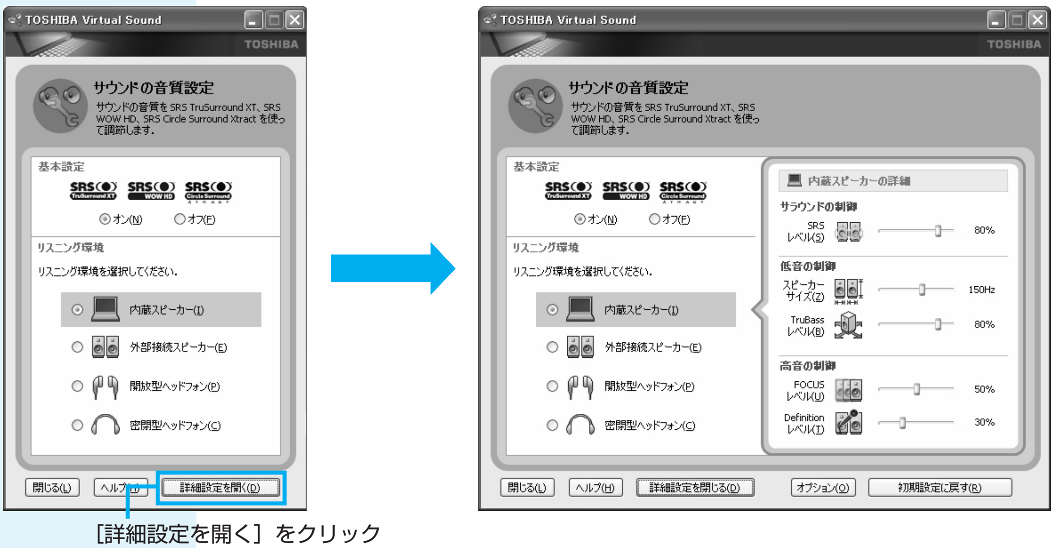
② 状況にあわせて音質を調整する

「TOSHIBA（トウシバ） Virtual（バーチャル） Sound（サウンド）」は、SRS社のSRS WOW HD（エスアールエス・ワウ・エイチディ）、SRS TruSurround XT（エスアールエス・トゥルーサラウンド・エックスティー）、Circle Surround Xtract（サークル・サラウンド・エクストラクト）技術を使い、音楽や音声を聴く環境にあわせて、サウンドの音質を調整するユーティリティです。SRS WOW HD、SRS TruSrround XT、Circle Surround Xtract技術の音響強化機能を利用して、お好みの音質でサウンドをお楽しみいただけます。

1 起動する



「TOSHIBA Virtual Sound」が起動します。
［詳細設定を開く］ボタンをクリックすると、さらに詳細な調節を行うことができます。



機能や操作の詳細は「TOSHIBA Virtual Sound」のヘルプを確認してください。ここでは機能の概要を紹介します。

4つのリスニング環境のそれぞれに適した音質を設定する（リスニング環境）
［内蔵スピーカー］［外部接続スピーカー］［開放型ヘッドフォン］［密閉型ヘッドフォン］の中から、お使いの環境に合わせたモードを選択でき、それぞれに適した音質を設定できます。

サウンドのステレオ感を調節する（サラウンドの制御）
音の広がりをお好みにより設定できます。

低音感を調節する（低音の制御）
音の出力レベルとスピーカーサイズを調節することにより、低音感をお好みにより設定できます。

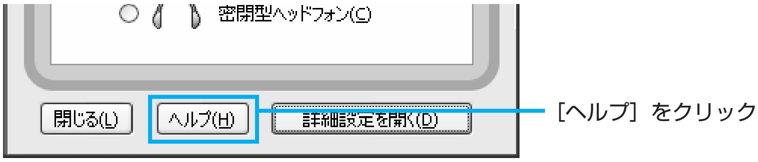
サウンドのクリア感を調節する（高音の制御）
音のクリア感をお好みにより設定できます。

メモ

- ［オプション］ボタンをクリックすると、SRS WOW HD、SRS TruSurround XT、Circle Surround Xtractの動作を変更できます。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Virtual Sound」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は次のとおりです。



「TOSHIBA Virtual Sound」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全 国 共 通 電 話 番 号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口受付時間　：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

6 デジタルカメラの写真を編集する

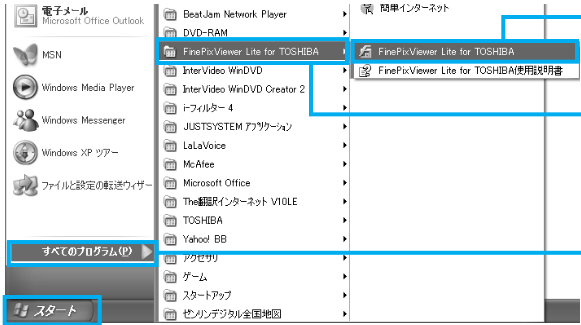
デジタルカメラで撮った写真などの画像を編集するには、「FinePixViewer Lite」を使います。文字を書き込むなどの編集操作を簡単に行うことができます。

① 写真を編集する

ここでは、デジタルカメラで撮った写真などの画像をパソコンにファイルとして取り込んだ状態で、編集をする場合について説明します。デジタルカメラからパソコンへの取り込みかたは、接続するデジタルカメラによって異なります。
詳しくは、『デジタルカメラに付属の説明書』を確認してください。

1 起動する

初めて起動したときは、［ソフトウェア使用許諾契約］画面が表示されます。
使用許諾契約を確認のうえ、［同意します］ボタンをクリックしてください。



④［FinePixViewer Lite for TOSHIBA］をクリック

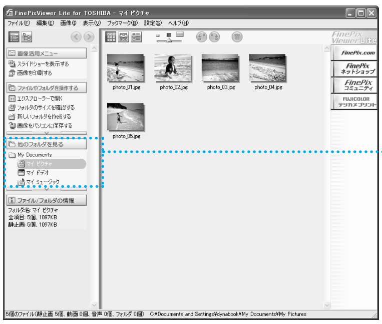
③［FinePixViewer Lite for TOSHIBA］をクリック

②［すべてのプログラム］をクリック

①［スタート］をクリック

2 編集したい画像を表示する

初期状態では、［マイ ドキュメント］の［マイ ピクチャ］に保存されている画像を表示します。

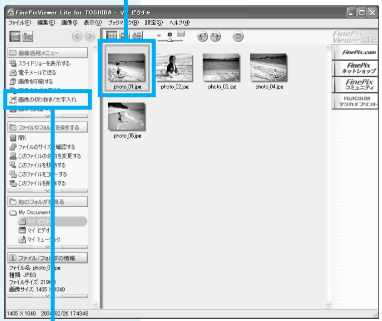


他のフォルダに保存している画像を表示したい場合は、［他のフォルダを見る］欄で場所を指定してください。

3 画像を編集する

ここでは、画像に文字を追加します。

① 編集したい画像をクリック



② ［画像の切り抜き／文字入れ］をクリック

画面中央の作業領域に、画像が表示されます。



4 ［文字入れ］タブをクリックする



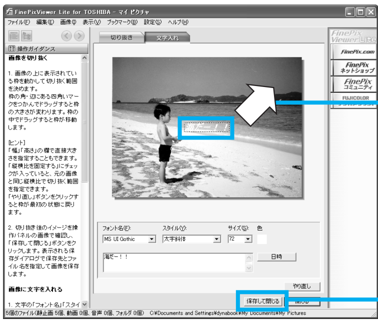
5 文字を入力する



② フォント、色などを指定

① クリックして文字を入力

6 文字を囲んでいる枠をドラッグして、位置を調整する

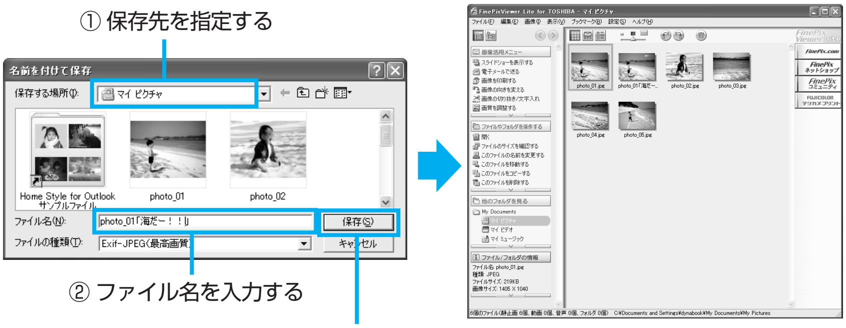


① 文字の囲みを希望の位置までドラッグ

② ［保存して閉じる］をクリック

7 保存して完了する

① 保存先を指定する



② ファイル名を入力する

③［保存］をクリック

詳細については、ヘルプを確認してください。

参照 「FinePixViewer Lite」のヘルプ

メモ

「FinePixViewer Lite」では、次のような画像の編集もできます。

- 画像の切り抜き　：画像を切り抜きます。
- 画像の向きを変える　：画像の向きを変更できます。
- 画質を調整する　：明るさや色合いなどを調整したり、セピア／白黒、くっきり／ぼかしの加工ができます。
- 赤目を修正する　：フラッシュなどで赤目になっている画像を修正します。
- 画像サイズを変更する：画像のサイズを変更できます。

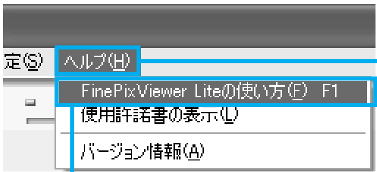
「FinePixViewer Lite」では、他にも次のようなことができます。

- デジタルカメラの画像をパソコンに取り込む
- 画像を印刷する
- スライドショーを行う
- インターネットを使ってデジカメプリントを注文する

など

ヘルプの起動方法

「FinePixViewer Lite」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

②［FinePixViewer Liteの使い方］をクリック

「FinePixViewer Lite」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）

技術相談窓口 受付時間　：9:00〜19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

② 編集した写真をCD／DVDにコピーする

データCD／DVDを作る前に、「付録 1-5 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」と「付録 1-6 データCD／DVDを作るにあたって」をよくお読みください。

本製品には、CD／DVDにデータを書き込むアプリケーションとして、「TOSHIBA Disc Creator」と「TOSHIBA Direct Disc Writer」が用意されています。お好みで使い分けてください。

- TOSHIBA Disc Creator
  一般的に互換性の高いCD-R、DVD-R、DVD+Rに書き込めるので、配布・保存に適しています。
- TOSHIBA Direct Disc Writer
  CD-RW、DVD-RW、DVD+RWにしか書き込めないのですが、書き込み手順が簡単なので、一時保存→上書きと繰り返す場合に適しています。

1 TOSHIBA Disc Creatorを使う

ここでは、パソコンに保存されているデータをCD-R／DVD-Rに書き込んで、データCD／DVDを作る方法を説明します。

メモ

- CD-R、CD-RWなどにデータを書き込んだ場合、データを保護するために「読み取り専用」になっていて、記録ができない場合があります。データを使うときには、1度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→［プロパティ］で、［読み取り専用］のチェックをはずしてください。

書き込み可能なメディア

○：使用できる　×：使用できない

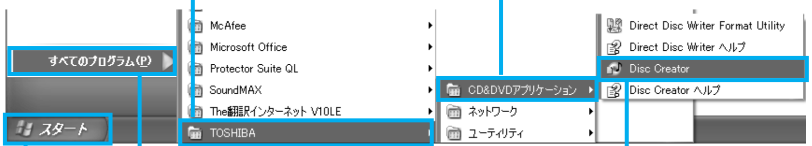
CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
○	○	○＊1	○＊1	○＊1	○＊1	×

＊1 DVD-Video、DVD-Audioの作成はできません。また、DVD プレーヤなどで使用することはできません。

1 あらかじめ書き込みたいデータを用意しておく

2 起動する

「TOSHIBA Disc Creator」を起動したとき、音楽CDの情報をインターネットから取得するための「Windows Media Player」の設定に関する画面が表示される場合があります。必要に応じて、設定を行ってください。
設定方法については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。



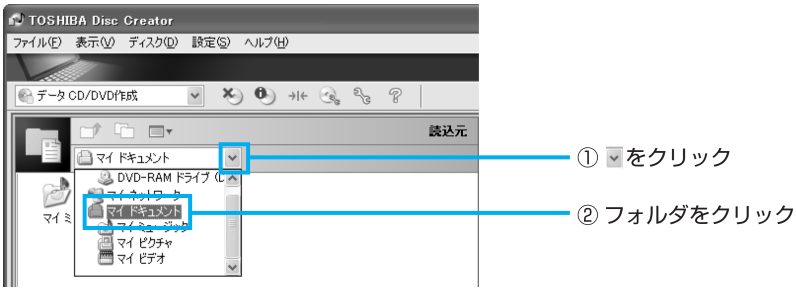
メモ

- Ctrlキーを押しながらフォルダやファイルをクリックすると複数指定できます。

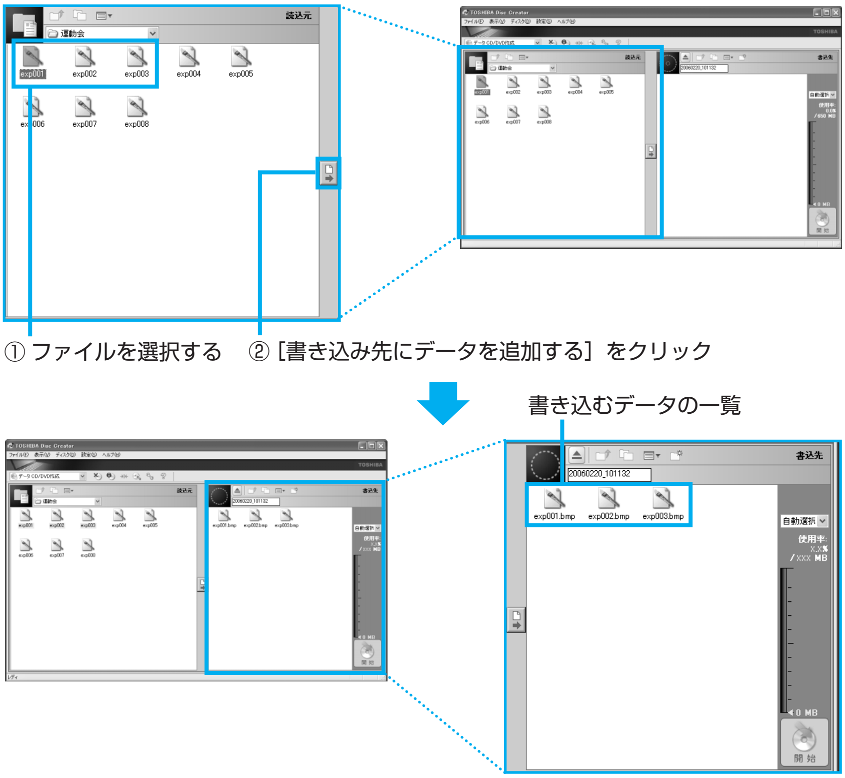
3 ［データCD/DVD作成］をクリックする



4 書き込みたいフォルダやファイルのある場所をクリックする

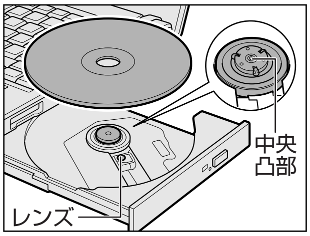


5 書き込みたいフォルダやファイルを指定する

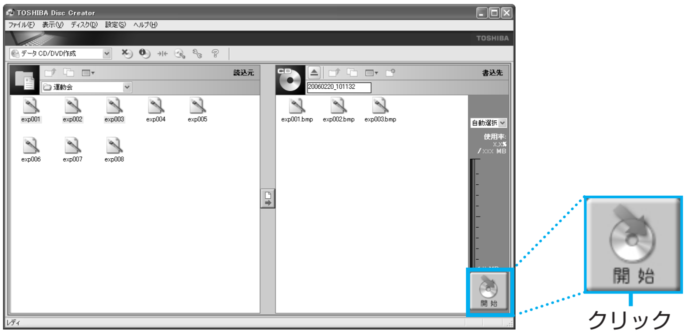


6 デジタルカメラの写真を編集する

6 未使用のCD／DVD、または追記可能なCD／DVDをドライブにセットする



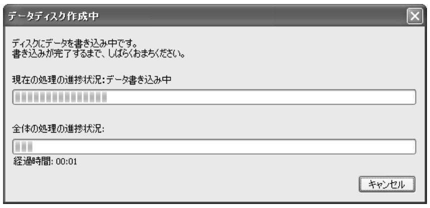
7 ［開始］ボタンをクリックする



8 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする



書き込み中は、次の画面が表示されます。



CD／DVDへの書き込みが終了すると、ドライブが自動的に開きます。

9 ［いいえ］ボタンをクリックする



さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、未使用のCD-Rと入れ替えて、［はい］ボタンをクリックしてください。

メモ

- 「TOSHIBA Disc Creator」のヘルプの起動方法については、「4 オリジナル音楽CDを作る」を参照してください。
「TOSHIBA Disc Creator」については、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）にお問い合わせください。

2 TOSHIBA Direct Disc Writerを使う

「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使う前に、「付録 1-7 「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うために」をよくお読みください。

書き込み可能なメディア

○：使用できる　×：使用できない

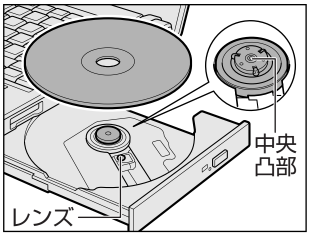
CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	○*1	×	○*1	×	○*1	×

＊1 新品のCD-RW、DVD-RW、DVD+RWを「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用するためには、あらかじめフォーマットが必要です。「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」を使用してください。

CD／DVDをフォーマットする

初めて「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用するCD／DVDは、使用前にフォーマットが必要です。次の手順でフォーマットを行ってください。

1 ドライブにフォーマットしたいCD／DVDをセットする



2 ［マイ コンピュータ］を表示する

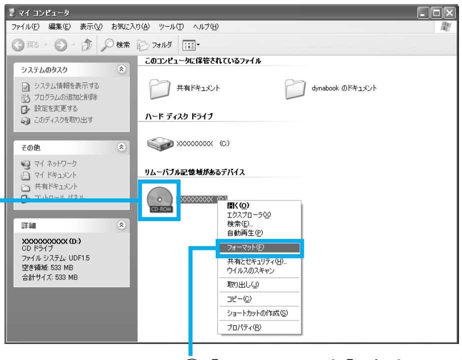


② ［マイ コンピュータ］をクリック

① ［スタート］をクリック

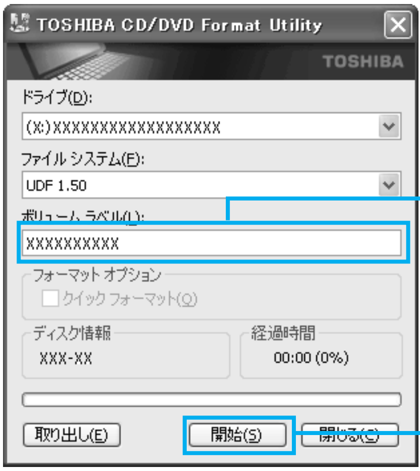
3 ［フォーマット］を選択する

① CD/DVDドライブのアイコンを右クリック



② ［フォーマット］をクリック

4 フォーマットを実行する



① ボリュームラベル名を入力

② ［開始］をクリック

5 メッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする





フォーマットの進行状況が表示されます。

メモ

- 「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」で初めてフォーマットするCD／DVDの場合は、「フォーマットオプション」を選択できません。「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットしたことがあるCD／DVDの場合はチェックをつけ、クイックフォーマットを行うことができます。

6 [OK] ボタンをクリックする



フォーマットが完了しました。

他のCD／DVDも続けてフォーマットする場合は、CD／DVDを入れ替えて、手順4から実行します。フォーマットを終了する場合は、[TOSHIBA CD/DVD Format Utility] 画面で [閉じる] ボタンをクリックしてください。

データをCD／DVDに書き込む

「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットしたCD／DVDにデータを書き込む方法を説明します。「TOSHIBA Direct Disc Writer」では1枚のCD／DVDに繰り返し書き込むことができます。あらかじめ書き込みたいデータを準備し、ドライブにCD／DVDをセットしておいてください。

1 書き込みたいデータを表示する

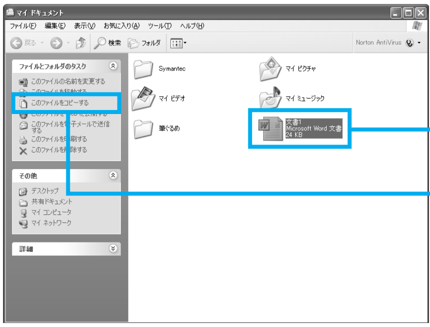
ここでは、[マイ ドキュメント] に保存している「文書1」を表示します。



② [マイ ドキュメント] をクリック

① [スタート] をクリック

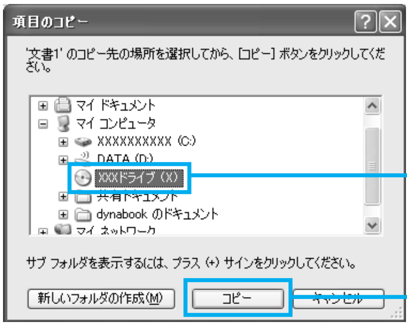
2 コピーするデータを選択する



① [文書1] を右クリック

② [このファイルをコピーする] をクリック

3 データをコピーする



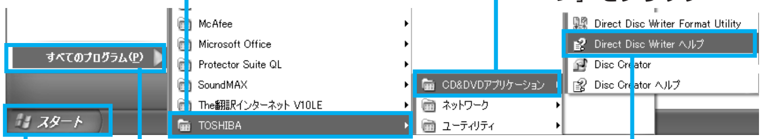
① ドライブをクリック

② [コピー] をクリック

データが書き込まれます。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Direct Disc Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。
起動方法は次のとおりです。



① [スタート] をクリック

② [すべてのプログラム] をクリック

③ [TOSHIBA] をクリック

④ [CD&DVDアプリケーション] をクリック

⑤ [Direct Disc Writerヘルプ] をクリック

「TOSHIBA Direct Disc Creator」については、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）にお問い合わせください。

7 Q&A集

ここでは、本書で説明している機能についてのトラブル解消方法を、Q&A形式で説明しています。
パソコンの操作全般についてのQ&A集は、『取扱説明書』、《おたすけナビ》、《よくあるご質問》に記載していますので、あわせてお読みください。

Q DVD-Video、動画ファイルを見ようとすると、映像が表示されない

A 「Windows Media Player」、「WinDVD」、「WinDVD Creator 2 Platinum」などのアプリケーションを複数起動させ、AVIファイル、MPEGファイル、DVD-Videoなどを再生すると、映像が表示されない場合があります。
起動しているアプリケーションを終了させた後、使用したいアプリケーションを起動させてください。

Q サウンド再生時に音飛びが発生する

A PCカード接続のハードディスクドライブまたはドライブの動作中にサウンドの再生を行うと、音飛びが発生する場合があります。

Q CD-ROM、DVD-ROMのデータを読み出せない 音楽CDの再生中に音飛びする

A CD、DVD、音楽CDが正しくセットされていない可能性があります。
CD、DVD、音楽CDの表裏を確認し、水平にセットしてください。

A CD、DVD、音楽CDが汚れている可能性があります。
乾いた柔らかい布で内側から外側に向かってふいてください。

A CD、DVD、音楽CDに傷がついていないか確認してください。
傷ついているCD、DVD、音楽CDは使えないことがあります。

A CD／DVDがシステムに対応していない可能性があります。
アプリケーションなどのCD／DVDは、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。
『CD／DVDに付属の説明書』を確認してください。

Q Windows上で、DVD-Videoをドライブにセットしたときに、再生するアプリケーションを選択する画面が表示されない

A 次の手順で設定を変更してください。
① ［スタート］→［マイコンピュータ］でドライブのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
② ［自動再生］タブで［DVDムービー］を選択し、［動作］で［動作を毎回選択する］をチェックする
③ ［OK］ボタンをクリックする

Q 再生中の動画がとぎれる
動画がなめらかに再生されない

A DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。

「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、DVD-Videoを再生してください。

A Windows上でのDVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。

省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリ駆動で再生する場合は「東芝省電力」のプロファイルを「DVD再生」に設定してください。
また、使用するDVDディスクのタイトルによってはコマ落ちするケースがあります。

A CD-ROM、DVD-Videoからデータを読み込んでいる可能性があります。

CD-ROM、DVD-Videoからデータを読み込んでいるときは、再生が止まる場合があります。

A 動画の再生中に、他のアプリケーションを実行していないか確認してください。

複数のアプリケーションを同時に使うと、動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなります。他のアプリケーションを終了してください。

A 動画の再生中にウィンドウの大きさや位置を変更すると、音とびや画像の乱れの原因になります。

Q 映像をハードディスクに取り込むことができない

A ハードディスクの空き容量が不足している可能性があります。

録画した映像をDVDに書き込み、必要のなくなったデータを削除して、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

A パソコンとビデオカメラが正しく接続されていない可能性があります。

参照 周辺機器の接続『取扱説明書 5章 周辺機器を使って機能を広げよう』

A デジタルビデオカメラからi.LINKコネクタを使って映像の取り込みや録音を行うときは「InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum」や「Windowsムービーメーカー」を使用してください。

それ以外のアプリケーションでは動作保証していません。市販のアプリケーションは使用しないでください。

Q 「WinDVD Creator2 Platinum」を使って、デジタルビデオカメラへ映像を書き戻しすると、音がとぎれる

A i.LINK（IEEE1394）経由でデジタルビデオカメラを接続し、「WinDVD Creator2 Platinum」を使って、デジタルビデオカメラへ映像を書き戻しすると、音がとぎれることがあります。

その場合は、次の手順を行ってください。

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

② ［システム］をクリックする
　［システムのプロパティ］画面が表示されます。

③ ［詳細設定］タブで、［パフォーマンス］の［設定］ボタンをクリックする
　［パフォーマンス オプション］画面が表示されます。

④ ［詳細設定］タブで、［仮想メモリ］の［変更］ボタンをクリックする
　［仮想メモリ］画面が表示されます。

⑤ ［選択したドライブのページングファイルサイズ］で［カスタムサイズ］を選択する

⑥ ［初期サイズ］を「500」以上、［最大サイズ］を「1000」以上に変更する

⑦ ［設定］ボタンをクリックする

⑧ ［OK］ボタンをクリックする

⑨ ［パフォーマンス オプション］画面の［OK］ボタンをクリックする

⑩ ［システムのプロパティ］画面の［OK］ボタンをクリックする

Q 「BeatJam」が起動できない

（OMGファイル、MP3ファイル、WMAファイル、WAVファイル、CD Audio トラックをダブルクリックしても、「BeatJam」で再生できない場合）

A 「Windows Media Player」の初回起動時に、音楽再生アプリケーションの設定が変更された可能性があります。

次の手順に従って、「BeatJam」が起動するように設定してください。

① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［BeatJam］→［BeatJam］をクリックする
　「BeatJam」が起動します。

② CDパネルの［メニュー］→［オプション］を選択する

③ ［関連付け］タブで［OpenMG Audioファイル（oma, omg）］、［MP3ファイル（mp3）］、［Windows Media Audioファイル（wma）］、［WAVファイル（wav）］、［CD Audio トラック（cda）］、［音楽配信サイトでの試聴・購入（oma2, oml2）］をチェックする

④ ［OK］ボタンをクリックする

Q 音楽ファイルをメモリースティックにチェックアウトできない

A メモリースティックまたはメモリースティックスロットがMagicGate対応していない可能性があります。

「BeatJam」を使用してOpenMG形式の音楽ファイルをメモリースティックにチェックアウトするには、メモリースティックメディアおよびメモリースティックスロットがMagicGate対応している必要があります。なお、本製品のスロットは、MagicGate対応していません。

付録 1 ご使用にあたってのお願い

お願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 Windows上でのDVD-Videoの再生にあたって

- DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、DVD-Videoを再生してください。
- DVD-Video再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリ駆動で再生するときは「東芝省電力」で「DVD再生」プロファイルに設定してください。
- DVD-Videoを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
  再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつくときは、「InterVideo WinDVD」を最大表示にしてください。
- Region(リージョン)コードは4回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。出荷時の状態では、DVD-Videoの再生はRegionコードが「2」または「ALL」のものをご使用ください。
- 外部ディスプレイに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、Clone表示（本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイの2つの表示装置それぞれに同時に画面を表示すること）の設定では、外部ディスプレイに表示するための設定が必要です。
  本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイにClone表示をしているときDVD-Videoを再生すると、画像がコマ落ちすることがあります。この場合は表示解像度を下げるか、本体液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみに表示するか、拡張表示に設定してください。
- 拡張表示でDVD-Videoを再生した場合、外部ディスプレイ側のDVD-Video再生画像が表示されないことがあります。その際はいったん再生を終了し、外部ディスプレイ側の解像度、リフレッシュレートや色数を下げてご使用ください。

参照 表示装置の切り替え『取扱説明書 5章 周辺機器を使って機能を広げよう』

その他の注意については、「Readme」に記載しています。
「Readme」の起動は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［InterVideoWinDVD］→［readme1st.txt］をクリックしてください。

2 「クイックプレイ（CD）」「クイックプレイ（DVD）」の使用にあたって

参照 CD／DVDの取り出し『取扱説明書 3章 パソコンの基本操作を覚えよう』

- 汚れや傷のあるCD／DVDは、再生できない場合があります。また汚れや傷がひどいとCD／DVDを取り出せなくなる場合もあります。イジェクトホールを使用するかパソコンを強制終了してCD／DVDを取り出してください。

■「クイックプレイ（DVD）」の使用にあたって■

- DVDは、制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。
クイックプレイ（DVD）はディスク制作者が意図した内容に従って再生をするため、操作した通りに動作しないことがあります。
- 操作中に「⊘」が画面に表示されることがあります。「⊘」が表示されたときは、「クイックプレイ（DVD）」またはDVD-Videoがその操作を禁止しています。
- 再生するDVDに付属の説明書もあわせてお読みください。
- Region（リージョン）コードは4回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。出荷時の状態では、DVD-Videoの再生はRegionコード「2」または「ALL」のものをご使用ください。
- 再生するDVDのタイトルによっては、コマ落ちまたは音飛びする場合があります。
- 本体液晶ディスプレイでのみ再生できます。外部映像出力はサポートしていません。
- パレンタルコントロールが設定されたDVDタイトルでは、DVD-Videoであらかじめ設定されているシーンが再生されます。パレンタルコントロールのレベル設定はサポートしていません。
- Video CD、DVD-Audio、-VRフォーマットまたは+VRフォーマットで保存されたデータの再生はサポートしていません。また、ファイナライズされていないメディア、MPEGやDivX、「ミニDVD」形式などのファイル再生もサポートしていません。
- ClosedCaptionの表示は行いません。
- 音声は必ず2chで出力されます。
- DTS、SDDSの音声を含むタイトルの場合、それらの音声を選択した場合には、音声は出力されません。
- カラオケモードには対応していません。
- 連続して操作をする場合は、直前の動作が完了してから次の操作をしてください。動作が完了する前に次の操作をすると、目的の動作をしない場合があります。

3 「WinDVD Creator」の使用にあたって

- 「WinDVD Creator」はコンピュータ管理者アカウントで使用してください。
- 本製品にインストールされていない、その他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
- 「InterVideo WinDVD」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは本体液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されているDVDの映像の編集は行えません。
- 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
- 「WinDVD Creator」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
- バッテリ駆動で使用中に映像データの取り込みを行うと、バッテリの消耗などによって取り込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。

4 DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて

■DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって■

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。
- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  ・スクリーンセーバ　・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  ・ウイルスチェックソフト　・モデムなどの通信アプリケーション　など
  ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード
- パソコン本体から、携帯電話および他の無線通信装置を離してください。

参照　省電力の設定について『取扱説明書 6章 バッテリ駆動で使う』

■作成したDVDについて■

- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディアを再生するときは、DVD+R DLメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。
- 作成したDVDを本製品で再生するときは、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

■映像データをDVDに書き込む前に■

- DVDに書き込みを行うときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨されるメディアを使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。
- 本製品に付属の「WinDVD Creator」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

■「WinDVD Creator」のムービー作成について■

- ムービー作成では－VRフォーマット、＋VRフォーマットでの書き込みはできません。
- DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。
- DVD-RAMにDVD-Videoフォーマットで記録できますが、作成されたメディアは本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。
- DVDへ書き込みを行うには、映像データのサイズの約2.5倍以上の空き容量がハードディスクに必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。使用する映像ファイルや編集のしかたによって、必要な空き容量が異なります。
- DVDに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

5 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために

参照 使用できるメディアについて『取扱説明書 3章 パソコンの基本操作を覚えよう』

参照 省電力機能について『取扱説明書 6章 バッテリ駆動で使う』

■CD/DVDに書き込む前に■

CD/DVDに書き込みを行うときは、Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。
CD/DVDに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- CD/DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込むときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。
- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。
- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  ・スクリーンセーバ
  ・ウイルスチェックソフト
  ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  ・モデムなどの通信アプリケーション など
  ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となります。
- SDメモリカード、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- 本製品に付属している「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-Video、DVD-Audioを作成することはできません。

■書き込み／削除を行うにあたって■

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 書き込み／編集作業中は、次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。

6 データCD／DVDを作るにあたって

＊ データCD／DVDを作るには、下記以外にもお願い事項があります。「本節 5 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」とあわせてご覧ください。使用できるメディアについては、『取扱説明書 3章 パソコンの基本操作を覚えよう』、『取扱説明書 7章 アプリケーションについて』の「TOSHIBA Disc Creator」に当てはまる部分をご覧ください。

■書き込む前に■

- 「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-RAMにデータを書き込むことはできません。
- DVD-R、DVD+Rにデータを追記した場合、そのDVD-R、DVD+Rを他のパソコンやドライブで読もうとしたとき、OSやドライブの制限により、記録されているすべての内容を読み出せないことがあります。Windows 98SE*1、Windows Me*2 などの16ビット系OSではDVD-R、DVD+Rメディアに追記されたデータを読むことはできません。Windows NT4.0*3 ではService Pack 6以降、Windows 2000*4 ではService Pack 2以降が必要です。また、DVD-ROMドライブ、DVD-ROM&CD-R/RWドライブの種類によっては追記したデータを読むことができないものがあります。

  ＊1 Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system日本語版を示します。
  ＊2 Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版を示します。
  ＊3 Microsoft® Windows NT® Workstation4.0 operating system日本語版を示します。
  ＊4 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system日本語版を示します。

■書き込み／削除を行うにあたって■

- 「TOSHIBA Disc Creator」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。

  ①「TOSHIBA Disc Creator」を起動し、［データCD／DVD作成］をクリックする
  ②メインウィンドウで［設定］をクリックし、［書き込み設定］→［データCD／DVD設定］をクリックする
  ［データCD／DVD設定］画面が表示されます。
  ③［データチェック］で「書き込み後にデータをチェックする」がチェックされているか確認する
  ［簡易チェック］と［詳細チェック］を選択することができます。
  ④［OK］ボタンをクリックする

7 「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うために

＊「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うには、下記以外にもお願い事項があります。『取扱説明書 3章 パソコンの基本操作を覚えよう』、『取扱説明書 7章 アプリケーションについて』とあわせてご覧ください。

- Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは使用しないでください。
- CD/DVDをフォーマットすると、CD/DVD上のすべてのデータが失われます。内容を確認のうえ、フォーマットしてください。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」はパケットライト形式での記録機能を備えたソフトです。「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマット／書き込みしたメディアを他のパケットライトソフトでは使用しないでください。
  また、他のパケットライトソフトでフォーマット／書き込みしたメディアに、「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込みは行わないでください。他のパケットライトソフトでフォーマットしたメディアを「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用する場合は、「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」で完全フォーマットを行ってから使用してください。
- ファイルやフォルダの「切り取り」→「貼り付け」は行わないでください。メディアやドライブに何らかの問題があった場合、もとのファイルやフォルダが消失することがあります。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込んだDVD-RWメディアを、「TOSHIBA Direct Disc Writer」がインストールされていないパソコンで読み出すには、DVD-RWメディアを「互換化」する必要があります。詳しくは「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプをご覧ください。DVD+RW、CD-RWメディアについては、「互換化」する必要はありません。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットされたメディア上にプログラムのセットアップファイルなどを保存し、そのメディア上からセットアップを実行しようとしたとき、エラーが発生することがあります。その場合は、セットアップに必要なファイルなどをいったんハードディスク上にコピーした状態で、ハードディスク上からセットアップを実行してください。

付録2 クイックプレイの操作一覧

クイックプレイの操作は、パソコン本体のボタン／キーボードから実行できます。操作は、次の表を参照してください。ボタンからの操作については、『取扱説明書』もあわせてご覧ください。

■操作について■

- 操作の一覧の中で、キーを「+」でつないで記載されているときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。
  - ・例：Fn+F7
    この場合は、Fnキーを押したままF7キーを押します。
- CD／DVDの再生で、再生したい曲またはチャプタの番号を選択したい場合に、曲の番号が1桁のときは、次のいずれかを実行してください。
  - ・再生したい曲またはチャプタの番号を入力し、キーボードのEnterキーを押す
  - ・再生したい曲またはチャプタの番号を入力し、2秒待つ

  再生したい曲またはチャプタの番号が2桁の場合は、その番号を入力するとそのまま再生されます。

パソコン本体のボタン	キーボード	CD機能	DVD機能
	電源スイッチ	CD終了	DVD終了
CD/DVD		CD起動	DVD起動
	Fn + F7	画面の輝度を上げる	画面の輝度を上げる
	Fn + F6	画面の輝度を下げる	画面の輝度を下げる
	1	1曲目を選択	1番目のチャプタを選択
	2	2曲目を選択	2番目のチャプタを選択
	3	3曲目を選択	3番目のチャプタを選択
	4	4曲目を選択	4番目のチャプタを選択
	5	5曲目を選択	5番目のチャプタを選択
	6	6曲目を選択	6番目のチャプタを選択
	7	7曲目を選択	7番目のチャプタを選択
	8	8曲目を選択	8番目のチャプタを選択
	9	9曲目を選択	9番目のチャプタを選択
	0	2桁の曲番号選択時、ゼロ	2桁のチャプタ番号選択時、ゼロ
	F8またはF9＊1		メニュー表示
	↑		設定項目移動
	←		設定項目移動
	→		設定項目移動
	↓		設定項目移動
	Enter	曲選択決定	決定または設定完了
	F2		設定メニュー表示／非表示

＊1 F8キーを押すとトップメニュー、F9キーを押すとメニューが表示されます。DVDには構造によってさまざまなメニューが用意されています。この操作をしたときに表示されるメニューは、DVDによって異なります。

パソコン本体のボタン	キーボード	CD機能	DVD機能
	Esc		メニュー取り消し／戻る／リターン*2
	Ctrl + ↑	音量上げる	音量上げる
	Ctrl + ↓	音量下げる	音量下げる
	M	消音*3	消音*3
	Ctrl + K		約10秒前に戻す
	Ctrl + L		約30秒後にスキップ
	< または O	約10秒前に戻す	早戻し*4
再生/一時停止 ▶/❚❚	Space	再生／一時停止*5	再生／一時停止*5
	> または P	約10秒後にスキップ	早送り*4
逆送り ❙◀◀	K	前の曲*6	ひとつ前のチャプタ／チャプタの先頭*7
停止 ■	Ctrl + Space	停止	停止
先送り ▶▶❙	L	次の曲	次のチャプタ
	D	表示切替*8	表示切替*9
	G		アングル切替
	S		字幕切替
	A		音声切替
	Ctrl + R	1曲リピート／Discリピート*10	
	Ctrl + S	シャッフル再生	
	T		タイトル選択
	Y		スロー再生*11
	W	SRSモード切替 *12	
	F1	キーガイド表示	キーガイド表示
	E	ディスクを取り出す	ディスクを取り出す
	V	バージョン情報*13	バージョン情報*13

*2 リターン：DVDで指定された画面に戻ります。再生するDVDに付属の説明書もあわせてご覧ください。

*3 1回押すと消音し、もう1回押すと消音する前の音量レベルに戻ります。消音中に音量を調整すると消音は解除され、消音前の音量レベルから調整されます。

*4 同じ操作を続けて行うと、速度が変わります。例えば早送り再生中に<キーまたはO（オー）キーを続けて押すと、1回押すたびに早送りの速度が変わります。通常再生に戻すには、［再生／一時停止］ボタンまたはキーボードのSpaceキーを押します。

*5 1 回押すごとに再生／一時停止が切り替わります。

*6 曲の再生が始まって2秒以上たってから押すと、再生中の曲の先頭から再生します。

*7 続けて2回押すと、1つ前のチャプタの先頭から再生します。

*8 音楽CDを聴いているとき、表示モードを次のいずれかに切り替えることができます。
- ・現在再生している曲の再生時間／現在再生している1曲の演奏時間（標準値）
- ・ディスクの先頭からの再生時間／ディスク全体の演奏時間

*9 1回押すと現在の状態、タイトル番号、チャプタ番号、時間を表示し、もう1回押すと非表示になります。再生しているシーンによって、表示される項目は異なります。

*10 1回押すごとに1曲リピート→Discリピート→通常再生→１曲リピート…と切り替わります。

*11 再生中にキーボードのYキーを続けて押すと、1回押すたびに再生速度が変わります。
通常再生に戻すには、［再生／一時停止］ボタンまたはキーボードのSpaceキーを押します。

*12 1回押すごとに、内蔵スピーカ→外付けスピーカ→開放型ヘッドフォン→密閉型ヘッドフォン→SRS OFF→内蔵スピーカ…と切り替わります。

*13 設定画面表示中のみ有効です。

付録3 クイックプレイの再インストール

メモ

- クイックプレイの再インストールを行うと、各種設定値が初期状態に戻ります。

クイックプレイは、購入時の状態では本製品にプレインストールされています。クイックプレイを削除してしまった場合の復元方法と、アップデートや削除の方法について説明します。

■必要なもの■

- クイックプレイのリカバリCD ＊1
- 『オーディオ＆ビジュアルガイド』（本書）、『取扱説明書』

＊1　クイックプレイのリカバリCDは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 作成方法 『取扱説明書 10章 2 リカバリディスクを作る』

クイックプレイをアップデートする場合は、次の2つの方法があります。

①Windowsからのアップデート
②クイックプレイのリカバリCDを使用したアップデート

Windowsからアップデートする場合は、プログラムをホームページからダウンロードする必要があります。詳細は弊社ホームページ「dynabook.com」の「サポート情報」→「ダウンロード」をご覧ください。
URL：http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

クイックプレイのリカバリCDを使ってアップデートする場合は、プログラムをホームページからダウンロードし、あらかじめアップデートCDを作成する必要があります。
詳細は弊社ホームページ「dynabook.com」の「サポート情報」→「ダウンロード」をご覧ください。
URL：http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

1 操作手順

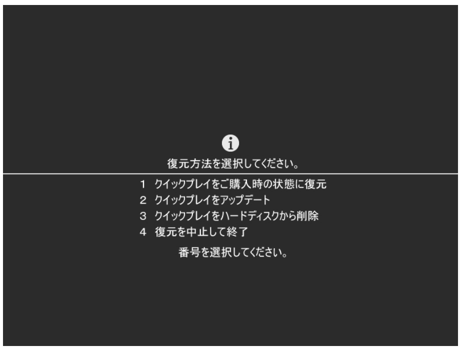
1 **AC アダプタと電源コードを接続し、クイックプレイ のリカバリCDをセットして、パソコンの電源を切る**

参照 CDのセット『取扱説明書 3章 パソコンの基本操作を覚えよう』

2 **キーボードの F12 キーを押しながら、パソコンの電源を入れる**

3 **→ または ← キーでCDのアイコンにカーソルを合わせ、Enter キーを押す**

［クイックプレイの復元を開始します。］画面が表示されます。
そのまま待つと、「復元方法を選択してください。」というメッセージが表示されます。



4 **購入時の状態に復元する場合は[1]キーを、クイックプレイをアップデートする場合は[2]キーを、クイックプレイを削除する場合は[3]キーを押す**

[4]キーを押すと、何もしないで終了します。

■[1]キーを押した場合■

復元中のメッセージが表示されます。



しばらく待つと、終了のメッセージが表示されます。



何かキーを押して終了してください。

- **エラーメッセージが表示された場合**
  「本項 1- エラーメッセージ」を参照してください。

■[2]キーを押した場合■

アップデートCDの挿入をうながすメッセージが表示されます。



ドライブにアップデートCDをセットし、[Enter]キーを押してください。
しばらく待つと、アップデート終了のメッセージが表示されます。



何かキーを押して終了してください。

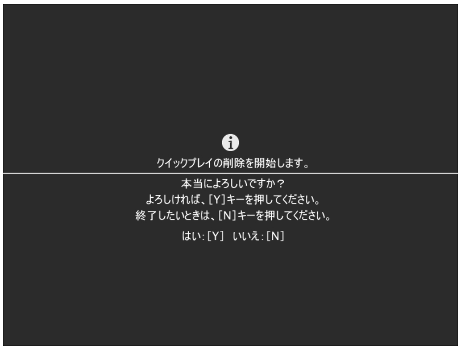
- クイックプレイがインストールされていない場合
  クイックプレイがインストールされていないと、アップデートはできません。削除してしまった場合は、アップデートしようとすると「クイックプレイがインストールされていません。」というメッセージが表示されます。先にクイックプレイを購入時の状態に復元してから、アップデートしてください。

- 違うCDをセットした場合
  正しいアップデートCDではないCDをセットすると、「不明なCDです。」というメッセージが表示されます。正しいCDをセットして、Yキーを押してください。
  Nキーを押すと、アップデートを中止して終了します。

- エラーメッセージが表示された場合
  「本項 1- エラーメッセージ」を参照してください。

■3キーを押した場合■

削除の確認メッセージが表示されます。



Yキーを押してしばらく待つと、削除終了のメッセージが表示されます。



何かキーを押して終了してください。

- エラーメッセージが表示された場合
  「本項 1- エラーメッセージ」を参照してください。

■エラーメッセージ■

操作中に次のようなメッセージが表示された場合は、右側に記載している対処方法を実行してください。

メッセージ	対 処 方 法
クイックプレイの復元中にエラーが発生しました。	何かキーを押して終了し、クイックプレイの復元を最初からやり直してください。
クイックプレイのアップデート中にエラーが発生しました。	何かキーを押して終了し、クイックプレイのアップデートを最初からやり直してください。
クイックプレイの削除中にエラーが発生しました。	何かキーを押して終了し、クイックプレイの削除を最初からやり直してください。
ハードディスクの空き領域が不足しています。ハードディスクに使用されていない200MB以上の空き領域を準備して、もう一度復元をやり直してください。	ハードディスクの終端に使用されていない200MB以上の未割り当て領域がないと、クイックプレイの復元はできません。何かキーを押して終了し、Windowsの「ディスクの管理」を使って不要なパーティションを削除し、ハードディスクに未割り当て領域を確保してから復元をやり直してください。
この機種はサポートしていません。	使用しているパソコンは、クイックプレイに対応していません。クイックプレイの復元はできません。

お願い

- パーティションを削除すると、そのパーティションに保存されているすべてのデータが削除されますので、必要なデータは必ずバックアップをとってください。

付録4 言語コード一覧

参照 「1-②-2- DVD設定-言語設定」

クイックプレイで言語コードを入力する場合、次の表を参照してコード番号を入力してください。

コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	EO	エスペラント語	IT	イタリア語
AB	アブバジア語	ES	スペイン語	IW	ヘブライ語
AF	アフリカーンス語	ET	エストニア語	JA	日本語
AM	アムハラ語	EU	バスク語	JI	イディッシュ語
AR	アラビア語	FA	ペルシャ語	JW	ジャワ語
AS	アッサム語	FI	フィンランド語	KA	グルジア語
AY	アイマラ語	FJ	フィジー語	KK	カザフ語
AZ	アゼルバイジャン語	FO	フェロー語	KL	グリーンランド語
BA	バシキール語	FR	フランス語	KM	カンボジア語
BE	ベラルーシ語	FY	フリジア語	KN	カンナダ語
BG	ブルガリア語	GA	アイルランド語	KO	韓国語
BH	ビハーリー語	GD	スコットランドゲール語	KS	カシミール語
BI	ビスラマ語	GL	ガルシア語	KU	クルド語
BN	ベンガル語、バングラ語	GN	グアラニ語	KY	キルギス語
BO	チベット語	GU	グジャラート語	LA	ラテン語
BR	ブルトン語	HA	ハウサ語	LN	リンガラ語
CA	カタロニア語	HI	ヒンディー語	LO	ラオス語
CO	コルシカ語	HR	クロアチア語	LT	リトアニア語
CS	チェコ語	HU	ハンガリー語	LV	ラトビア語、レット語
CY	ウェールズ語	HY	アルメニア語	MG	マダガスカル語
DA	デンマーク語	IA	インターリンガ語	MI	マオリ語
DE	ドイツ語	IE	インターリング語	MK	マケドニア語
DZ	ブータン語	IK	エスキモー語	ML	マラヤーラム語
EL	ギリシャ語	IN	インドネシア語	MN	モンゴル語
EN	英語	IS	アイスランド語	MO	モルダビア語

コード	言語	コード	言語	コード	言語
MR	マラータ語	SA	サンスクリット語	TI	ティグリニャ語
MS	マレー語	SD	シンド語	TK	トゥルクメン語
MT	マルタ語	SG	サンゴ語	TL	タガログ語
MY	ミャンマー語	SH	セルビアクロアチア語	TN	セツワナ語
NA	ナウル語	SI	シンハラ語	TO	トンガ語
NE	ネパール語	SK	スロバキア語	TR	トルコ語
NL	オランダ語	SL	スロベニア語	TS	ツォンガ語
NO	ノルウェー語	SM	サモア語	TT	タタール語
OC	プロバンス語	SN	ショナ語	TW	トウィ語
OM	(アファン)オロモ語	SO	ソマリ語	UK	ウクライナ語
OR	オリヤー語	SQ	アルバニア語	UR	ウルドゥー語
PA	パンジャブ語	SR	セルビア語	UZ	ウズベク語
PL	ポーランド語	SS	シスワティ語	VI	ベトナム語
PS	パシュトー語	ST	セストゥ語	VO	ボラピュク語
PT	ポルトガル語	SU	スンダ語	WO	ウォロフ語
QU	ケチュア語	SV	スウェーデン語	XH	コーサ語
RM	ラエティ=ロマン語	SW	スワヒリ語	YO	ヨルバ語
RN	キルンディ語	TA	タミール語	ZH	中国語
RO	ルーマニア語	TE	テルグ語	ZU	ズール語
RU	ロシア語	TG	タジク語		
RW	キニヤルワンダ語	TH	タイ語		